

TIV

ThinkHub™

ユーザーガイド

目次

ThinkHub（シンクハブ）とは？	4
タッチジェスチャー	5
アイドル状態	6
キャンバスとキャンバス・キー	8
キャンバストレイ	8
アプリ	9
メディア	14
メニュー	16
メニューの検索	17
2.取り消し/やり直し	17
3.キャンバスツール	17
4.ボリューム	23
5.コンテンツ	23
6.シェアリング	25
7.マルチサイト	26
8.グループの凡例	28
9.ThinkHub アジャイル・テンプレート	28
10.ビデオ会議	29
VC パネル	31
11.セッション	32
12.ヘルプ	34
デバイス	35
自動プレゼンテーションモード	35
コンテンツトレイ	36
ThinkHub xCanvas（キャンバス）	37
ThinkHub A/V マトリックス	39
T1V アプリ	39
デバイスの接続	40
ウィンドウやスクリーンの選択	43
ThinkHub 用 T1V アプリメニュー	44

1.画面共有の停止	44
2.TouchControl™の切り替え	44
3.ThinkHub で画面を前面表示する	44
4.共有する新しい画面またはウィンドウを選択	44
5.注釈の削除	44
6.オーディオサポートのインストール	44
7.T1V アプリファイル	45
8.接続解除	46
9.接続先	46
10.コピー	46
11.T1V アクセス	46
12.設定	47
T1V アプリの設定	48
1.キャスト時にプライマリ画面を選択	48
2.マイデバイスの名称	48
3.画面品質	48
4.帯域幅制限	48
5.チャンネルの更新	48
6.ウィンドウをメニューバーにピン留めする	48
7.保存	49
8.初期設定への復元	49
マルチデバイスの接続	49
ボタン・アイコン用語集	49
キャンバストレイ	49
コンテンツトレイ	50
メニュー	51

ThinkHub（シンクハブ）とは？

ThinkHub は、アイデア、コラボレーション、イノベーションをサポートすることを目的とした視覚的な共同作業ツールです。ThinkHub を使用すると、ブレインストーミング会議の際に必要な情報を集約でき、ユーザーがすでに使用しているデバイス、コンテンツ、ソフトウェア上で作業を行えます。ThinkHub セッションを開始するための設定は不要ですので、メンバーとの会議をより効率的かつ生産的に行うことができます。



タッチジェスチャー

ThinkHub は、複数の人が同時にさまざまな作業を行うことを想定して開発されています。

スマートフォンやタブレットの操作に慣れている方であれば、ThinkHub のタッチジェスチャーも簡単に操作できます。



タップ

画面を軽くタップしてコンテンツやリンクを選択します。



長押し（タップしたまま）

画面をタップし、新しい情報が表示されるまで押し続けます。この操作でメニューを開くことができます。



フリック

画面上に指を置き、目的の方向にすばやく動かします。



このジェスチャーを使って、素早くスクロールや画面移動を行ったり、コンテンツを画面上に送信したりすることができます。



ドラッグ

インタラクティブサーフェス上の好きなコンテンツをタッチし、目的の場所に移動します。指を離してコンテンツを解除します。このジェスチャーは、フリックよりもコントロールしやすく、キャンバス上を移動するためにも使用できます。



ピンチとズーム

ズームイン（拡大）するには画面上で、閉じた状態の 2 本の指を広げることで操作できます。

ズームアウト（縮小）するには画面上で、広げていた状態の 2 本の指を閉じることで操作できます。



消去

手でこぶしを作り、こぶしの外側を使って、コンテンツウィンドウやキャンバス上の注釈を消去します。

アイドル状態

ThinkHub が一定時間操作されないと、以下の画面が表示されます。



1. T1V アプリ

ディスプレイの右上には、T1V の予約認証情報が表示されています。これにより、物理的に画面に触れることなく、デバイスの画面を ThinkHub キャンバスに接続して表示することができます。

2. 天気・日付・時刻

ここには、毎日の天気予報、日付、時間が表示されます。これは、ThinkHub の管理者（企業内で指定された担当者）が設定できます。

3. カレンダー

その日に予定されている会議が表示されます（この統合はオプションであり、企業によって設定されている場合とされていない場合があります）。ThinkHub の管理者は、会議の詳細をどれだけ表示するかを指定できます（時間、会議名、会議の説明、会議のホストはすべて設定可能です）。上下にスクロールすると、その日に予定されているすべての会議を確認することができます。

4.ThinkHub ショートカット

白ボタンは、それぞれ異なるショートカットを表しています。

Sketch（スケッチ） - 「Sketch」をタップすると、ThinkHub キャンバスが起動し、すぐに大きなスケッチウィンドウが開きます。この機能を使えば、すぐにスケッチを始めることができます。

Present（プレゼンテーション） - 「Present」をタップすると、ThinkHub キャンバスが起動し、すぐに T1V アプリの説明書が表示されます。この機能を使用すると、会議参加者がデバイスをキャンバスに接続して共有できるようになります。

Browse（閲覧） - 「Browse」をタップすると、ThinkHub キャンバスが起動し、すぐに Web ブラウザーのウィンドウが開きます。この機能を使えば、すぐにブラウザーの閲覧を開始できます。

5.ThinkHub ヘルプ

Help（ヘルプ）をタップすると、画面上にヘルプガイドが表示されます。

6.ThinkHub の起動

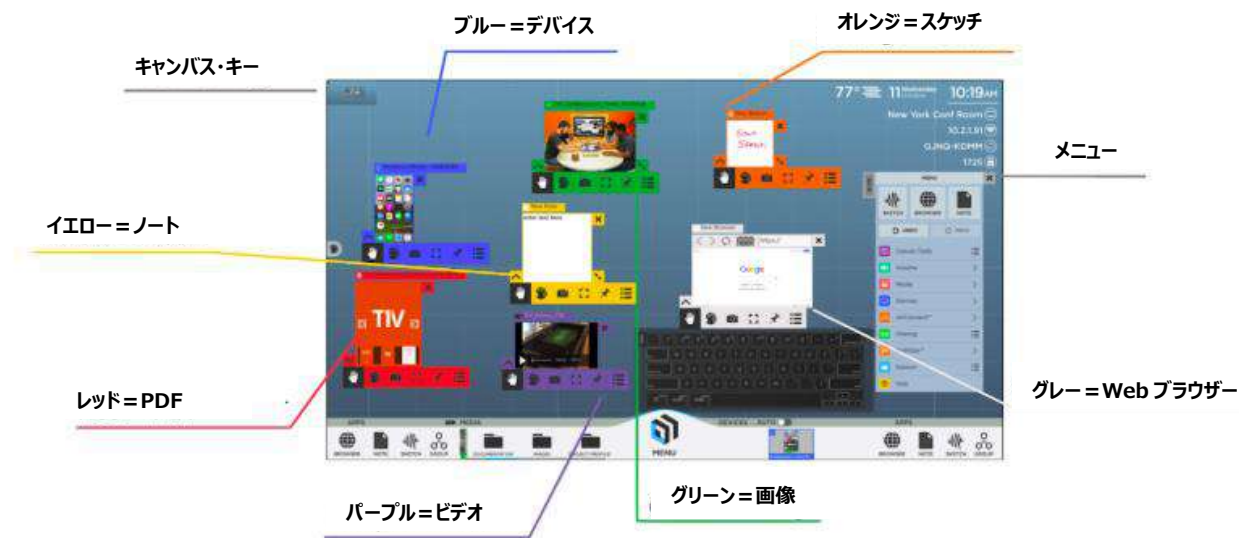
Start（スタート）をタップすると、ThinkHub セッションが起動します。

キャンバスとキャンバス・キー

ThinkHub キャンバスは、ThinkHub セッションのデジタル背景で、物理的なタッチスクリーン面積を最大 20 倍まで拡張することが可能です。タッチジェスチャーでキャンバスを操作することができます。

キャンバス・キーは、ThinkHub キャンバスの左上にあります。キャンバスの動作領域は、タッチスクリーンに表示される可視部分で、濃い色のボックスで表示されます。これにより、特定のコンテンツを探したり、キャンバスのあるエリアから別のエリアに移動したりすることができます。キャンバス・キーを視覚的な補助として使用するだけでなく、キャンバス・キーを直接タップすることで、キャンバスの各エリアに素早く移動することができます。

それぞれのコンテンツウィンドウが異なる色のアウトラインで表示されているのが分かります。



キャンバストレイ

ThinkHub キャンバスの下部にあるキャンバストレイには、重要なツールがすべて収納されています。

キャンバストレイからは、アプリ、メディア、メニュー、デバイスにアクセスできます。

トレイの最小化

ThinkHub キャンバストレイを非表示にして、ユーザーの作業スペースを最大限に活用することができます。メニューアイコンの上部にある青い矢印をタップすると、キャンバストレイ、キャンバス・キー、T1V アプリの認証情報が非表示になります。




アプリ

アイデアや考えを素早くキャンバスに反映できるよう、「Web ブラウザー」「ノート」「スケッチ」「グループ」といったアプリが組み込まれています。キャンバスの下端からこの 4 つのアプリすべてにアクセスできます。また、内蔵されているアプリにもメニューからアクセスできます。



アイコンをタップするか、キャンバスにドラッグ＆ドロップするだけで、新しい Web ブラウザー、ノート、スケッチを表示できます。ウィンドウ内を 1 回タップしてアクティブにします（カラーの枠線が表示されるとウィンドウがアクティブになり、ウィンドウの下部にコンテンツトレイが表示されます）。アクティブな状態では、コンテンツウィンドウ内でピンチ/ズームして、特定のエリアをフォーカスできます。

ウィンドウを非表示にするには、コンテンツトレイの左下にあるトレイの折りたたみボタン () をタップします。これで、コンテンツを任意の場所にドラッグできるようになります。



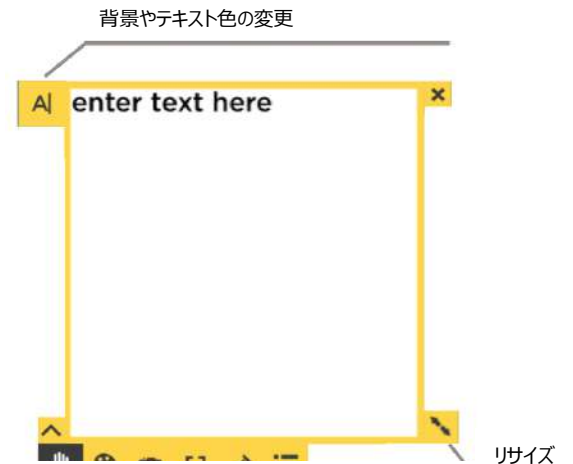
キャンバスから Web ブラウザー、ノート、またはスケッチウィンドウを削除するには、コンテンツウィンドウの右上隅にある「X」ボタンをタップします。Web ブラウザーウィンドウの任意の場所をタップするだけで、コンテンツウィンドウがアクティブになります。ウィンドウがアクティブになると、（カラー枠線が表示され、コンテンツトレイが表示されます）、コンテンツウィンドウ内をピンチ/ズームできます。新しい Web ブラウザーウィンドウのデフォルト URL は Google.com です。ブラウザーの検索バーをタップしてキーボードを開き、キーワードを入力するか、上部の URL バーをタップして Web ページに直接アクセスできます。





NOTE

ノートウィンドウの任意の場所をタップすると、コンテンツウィンドウがアクティブになります。ウィンドウがアクティブになると（カラーの枠線が表示され、コンテンツトレイが表示されます）、コンテンツウィンドウ内をピンチ/ズームできます。また、ウィンドウの右下にある2本の矢印のアイコンを使って、ノートのサイズを変更することもできます。標準のコンテンツトレイに加えて、ノートのコンテンツウィンドウの左上にあるボタンを使って、背景色やテキストの色を変更することができます。



SKETCH

スケッチはフリーハンドまたはスタイラスで描けるようになっています。ウィンドウの任意の場所をタップして、コンテンツウィンドウをアクティブにします。ウィンドウがアクティブになると（カラーの枠線が表示され、コンテンツトレイが表示されます）、コンテンツウィンドウ内をピンチ・ズームできます。また、ウィンドウの右下にある二本の矢印のアイコンを使って、スケッチ画面のサイズを調整できます。



GROUP

ThinkHub グループを使用すると、ユーザーはグループを作成し、そのグループに個々のコンテンツを追加できます。グループには、ノート、スケッチ、画像、動画、PDF、またはキャンバスで共有されるその他のコンテンツを取り込むことができます。グループを作成すると、ユーザーはテーマ（背景やテキストの色）を割り当てることができ、グループのコンテンツの表示方法（アセット間の間隔、配置など）をコントロールすることができます。ThinkHub グループは、キャンバスのコンテンツを管理および整理するための有効な方法で、参加者が大規模なチーム計画やブレインストーミングのセッションでコンテンツを視覚化し、分類するのに役立ちます。

1. グループ内のアイテム数

グループ名の横にある数字は、そのグループ内にあるアイテムの数
を示しています。

2. グループ名

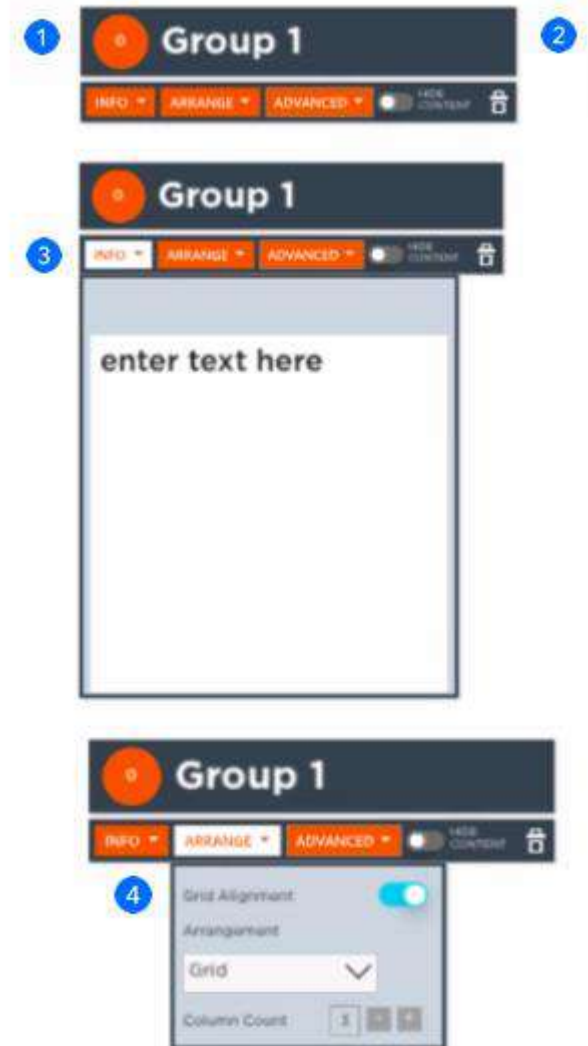
グループヘッダーでは、グループ名を編集することができます。グル
ープヘッダーのテキスト内の任意の場所をタップすると、グループヘ
ッダーが編集モードになります。

3. 情報

このボタンをタップすると、該当グループの情報カードが表示されま
す。情報カードを使用すると、グループやグループの内容の詳細な
説明を入力できます。

4. 配置

このボタンをタップすると、さまざまなグループの配置とレイアウトの
オプションが表示されます。



5.詳細設定

このボタンをタップすると、さまざまなグループの動作が表示されます。たとえば、すべてのグループコンテンツに、異なるアプリケーションの背景色とテキスト色を選択して適用できます。

6.コンテンツの非表示

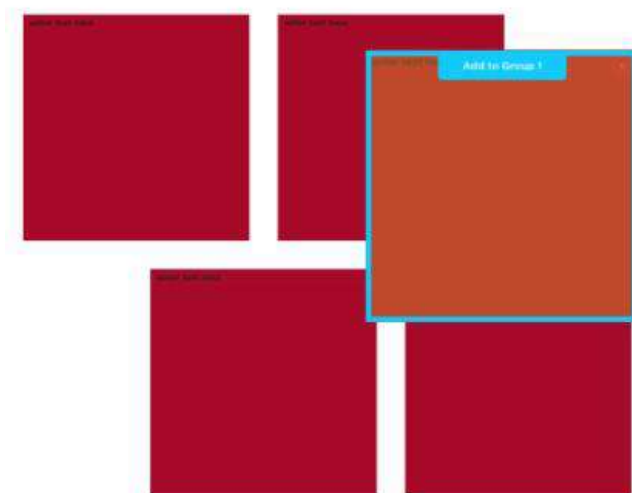
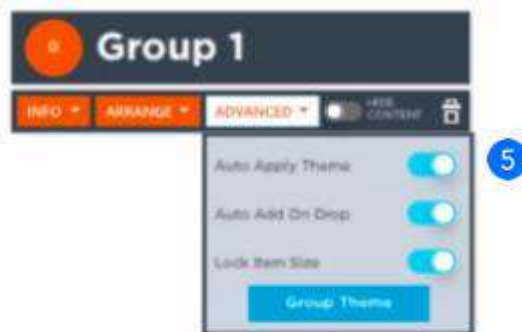
このボタンをタップすると、キャンバス上のグループコンテンツを非表示または最小化することができます。

7.グループの終了

グループを閉じる、または削除する場合はこのボタンをタップします。注：グループのコンテンツはキャンバス上に残り、グループの属性（該当する場合）も維持されますが、グループ化は解除されます。

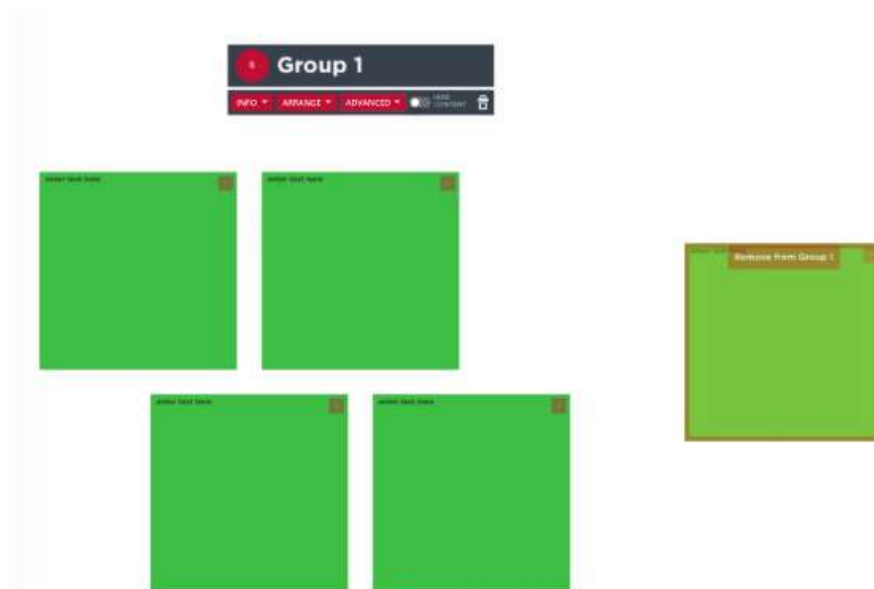
8.グループにアイテムを追加する

アイテムをグループに追加するには、アイテムをグループの近くにドラッグします。グループの周囲に水色の枠線と"Add to..."（に追加）というテキストが表示されます。アイテムから指を離すと、自動的にグループに追加されます。



9. グループからアイテムを削除する

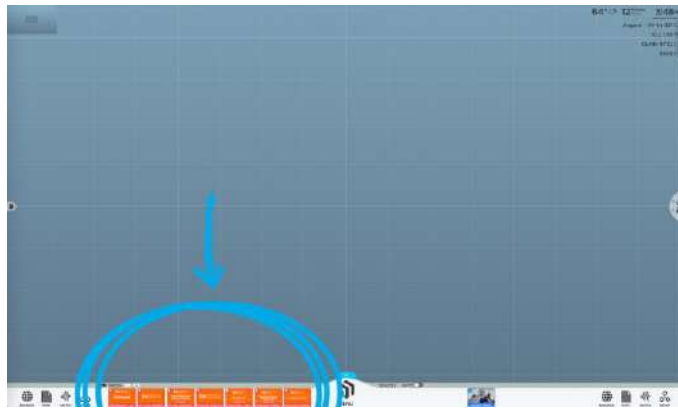
グループからアイテムを削除するには、オレンジ色の枠線と、"Remove from..."（から削除）というテキストがグループ画面の回りに表示されるまで、グループからアイテムをドラッグします。




メディア

すべてのメディアファイルは、キャンバストレイのメディアセクション内にあります。これには、画像、動画、PDF などが含まれます。メディアセクションにファイルをロードするには、USB ドライブを ThinkHub USB ポートに接続します。大型の ThinkHub ソリューション（マルチパネルディスプレイ）の場合、これはインタラクティブウォールの近くに設置された USB ポートであると考えられます。小型の ThinkHub ソリューション（シングルパネルディスプレイ）の場合は、インタラクティブディスプレイの背面または側面に設置することができます。USB ポートの設置場所の詳細については、ThinkHub の管理者にお尋ねください。ThinkHub は、ネットワークのドライブフォルダと統合されている場合があります、その場合、メディアにアクセスするための USB は必要ありません。

USB ドライブを接続すると、トレイのメディアセクションにコンテンツが自動的にロードされ、サムネイル・プレビューウィンドウが表示されます。ファイル名は、追加の基準ポイントとしてサムネイル・プレビューイメージのベースに重ね文字として表示されます。メディアをドラッグしたり、フリックしたりして、キャンバスに共有したいコンテンツを探することができます。ファイルのサムネイルをタップまたはドラッグするだけで、キャンバスにコンテンツを共有できます。



メディアフォルダを入力した場合、ホームボタン（）を押すと、USB またはネットワークドライブの最上位階層に戻ります。「戻る」ボタンをクリックすると、ファイルフォルダを行き来できます。



メニュー

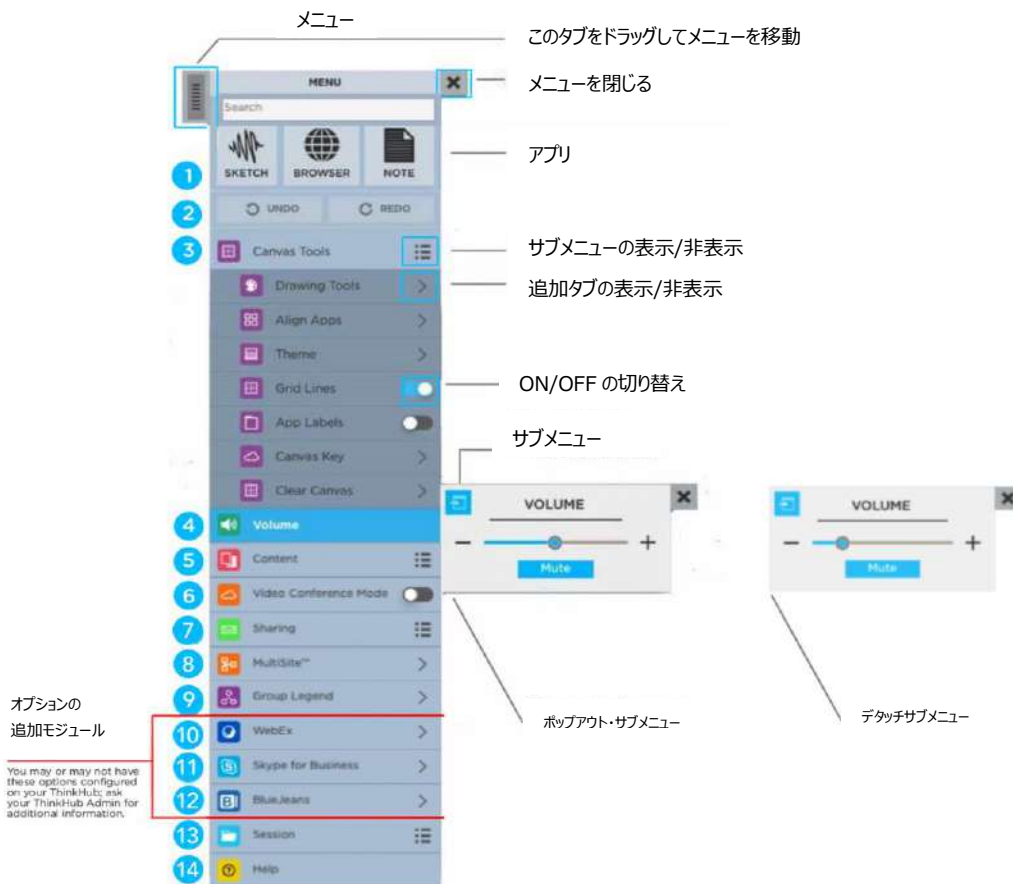


または



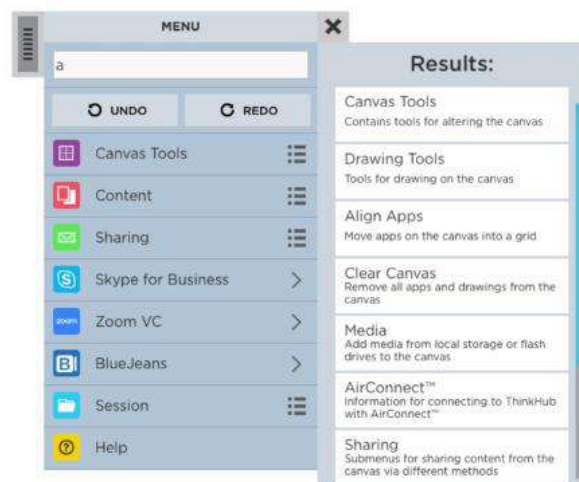
キャンバストレイからメニューを開くには、ThinkHub のアイコンをタップして起動します。また、キャンバス上の任意の場所を長押し（タップしてそのまま押し込んだ状態）すると、メニューが表示されます。複数のユーザーが同時にメニューを開くことができます。一定時間が経過してアイドル状態になると、そのメニューはキャンバスから消去されます。

メニューは、一連のタブとサブメニューに分かれています。サブメニューの左上にある青い飛び出しアイコンをタッチすると、すべてのサブメニューを切り離すことができます。これにより、サブメニューがメニューから切り離され、キャンバス上で固定されたままになります。左上隅のサブメニュータブをクリックして、キャンバス上の任意の場所にサブメニューをドラッグして配置します。



メニューの検索

メニュー検索機能を使用すると、メニュー内のアプリやコンテンツなどをすばやく検索できます。入力を開始すると、検索機能は入力されたテキストを含むすべての結果を表示します。また、メニュー検索には電卓が内蔵されており、簡単な計算式をすぐに入力して結果を確認することもできます。

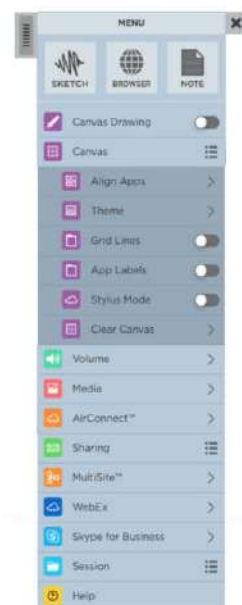


2.取り消し/やり直し

キャンバス上の最後の操作を取り消すには、"Undo"（取り消し）を選択します（注釈、コンテンツを開く、コンテンツの配置など）。"Redo"（やり直し）は、"Undo"（取り消し）で削除されたアクションを復元します。

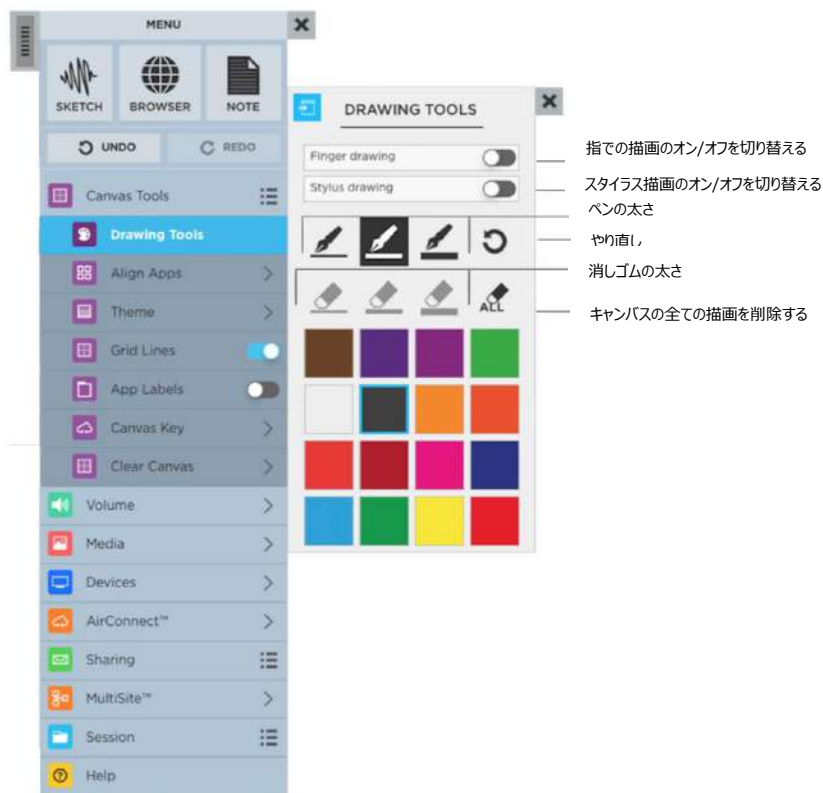
3.キャンバスツール

すべてのキャンバスコントロールに対して、このタブを選択します。ここでは、描画ツール、アプリの整列、テーマ、罫線、アプリのラベル、キャンバス・キー、キャンバスのクリアなど、複数のサブメニューを表示できます。



描画ツール

描画ツールのサブメニューから、キャンバス上での描画の表示方法をコントロールできます。まず、ユーザーが指を使ってキャンバスに絵を描けるようにするために、"Finger drawing"（指で描く）をオンにします。ディスプレイがスタイラスでの描画をサポートしている場合は、スタイラスモードをオンにして、描画できるようにするオプションがあります。



キャンバス描画を有効にすると、ペンの太さや色も同時に選択できるようになります。また、最後に行った操作を取り消すこともできますし、特定のコンテンツを消去する場合は消しゴムの太さを選択したり、すべてを消去したりすることもできます（これによりキャンバス上の描画が全て消去されます）。強調表示された同じボタンをタップすると、全消去した操作を元に戻すことができます。

キャンバス描画ツールを使用する場合、一度に選択できるペン・消しゴム・カラーは 1 つだけですが、描画ツールメニューは終了するまでアクティブな状態が維持されます。複数の人が同時に描画（または消去）できるようになりますが、キャンバス描画用の描画ツールを一度選択すると、その選択内容はキャンバス全体に適用されます。

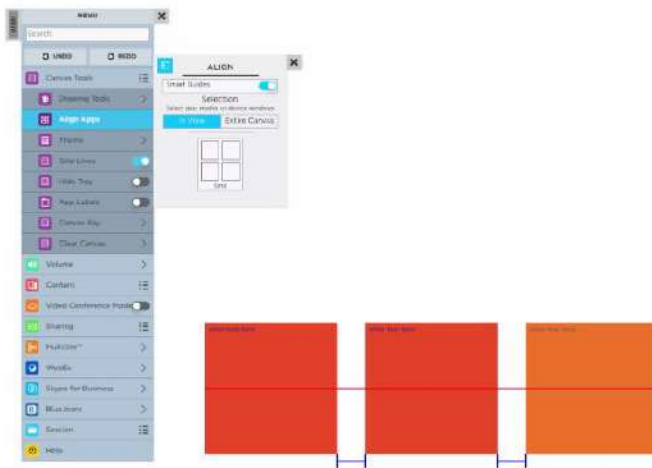
スタイラスモード

スタイラスモードでは、ThinkHub は指のタッチとスタイラスのタッチを即座に区別します。指だけでキャンバス内のコンテンツを移動させることができます。スタイラスを使って、キャンバスに書き込みや注釈をすることができます。ThinkHub はこうした 2 つのタッチイベントの違いを認識するので、この 2 つのアクションをよりすばやく操作できます。また、手でこぶしを作り、こぶしの裏側を円を描くように動かすと、インタラクティブ・キャンバスに書かれた書き込みを消去できます。これはオン/オフを切り替えることができるツールです。

アプリとスマートガイドの連携

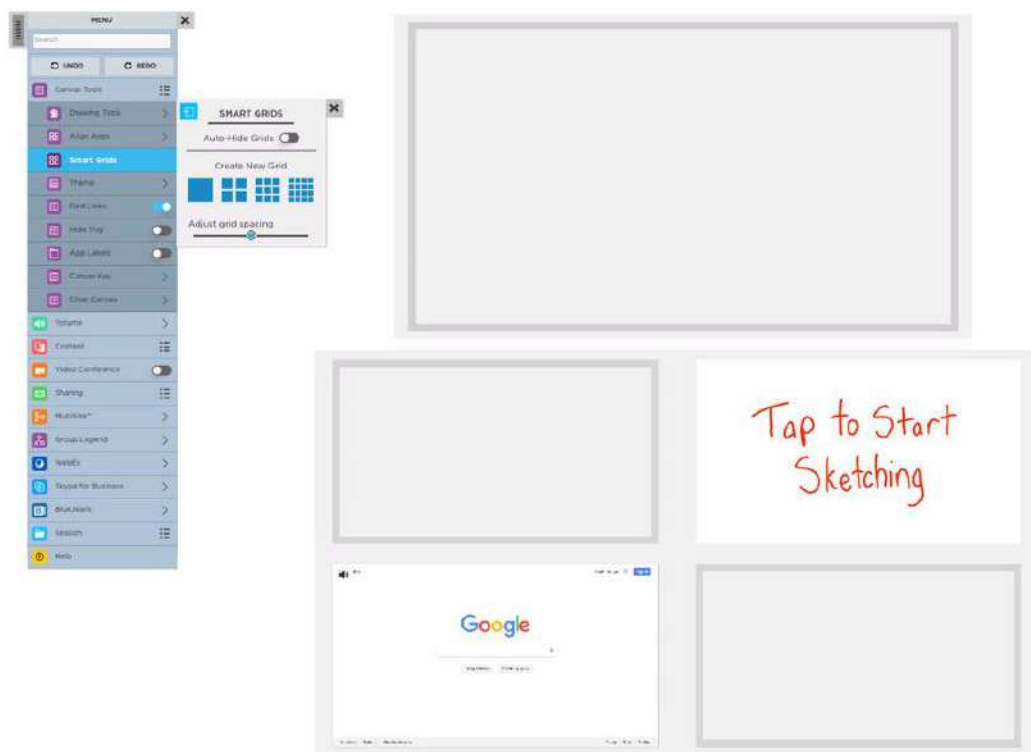
このツールを使用して、ThinkHub キャンバスのコンテンツを揃えます。すべてのアイテムを「表示中」（物理的なディスプレイに現在表示されているもの）、または「キャンバス全体」に整理させることができます。この機能は、すべてのアイテムをグリッドに簡単に配置します。

ThinkHub Smart Guides™（スマートガイド）ツールを使用して、ThinkHub 内のアライメント機能を強化します。スマートガイドは、キャンバス上のアプリのサイズ、高さ、間隔の配置を視覚的に表示します。



スマートグリッド

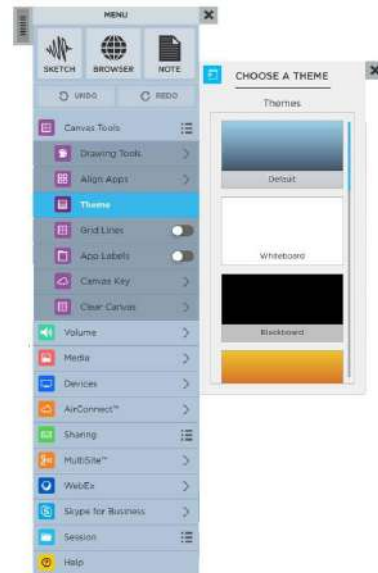
ThinkHub スマートグリッドは、標準の ThinkHub でも利用できるようになりました。スマートグリッドを使用してキャンバスレイアウトを作成し、コンテンツを最適なサイズと配置で表示します。コンテンツがスマートグリッドのドロップゾーンにドラッグされると、コンテンツはグリッドの最大サイズまで拡張されます。スマートグリッドは ThinkHub アライメントツールセットの一部で、ユーザーが ThinkHub キャンバス上のコンテンツを整理し視覚化できるよう設計されています。さらに、ThinkHub や ThinkHub xCanvas（キャンバス）のような ThinkHub のバリエーションを利用して、ビジュアル性の高いコンテンツをチームに提示する際にも、強力なプレゼンテーションツールとなります。



テーマ

このツールを使って、キャンパスの背景テーマを切り替えることができます。

複数のオプションから選択でき、上下にスクロールして表示できます。キャンバス上のコンテンツはすべて同じで、テーマパレットが変更されるだけです。



グリッド線の表示

ThinkHub では、グリッド線の表示・非表示を切り替えることができます。この機能は、ThinkHub メニューのキャンバス・サブメニューからアクセスできます。



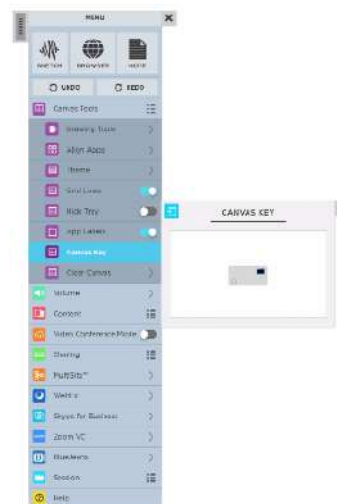
アプリのラベルを表示する

このツールは、オン/オフを切り替えることができます。オンにすると、全コンテンツウィンドウの左上の境界にアプリラベルが表示されます。これは、キャンバスに表示されている異なるコンテンツを区別するためのものです。アプリのラベル名は、ラベルのテキストをタップすることでいつでも変更できます。キーボードが表示され、ThinkHub 上で直接コンテンツの名前を変更することができます。



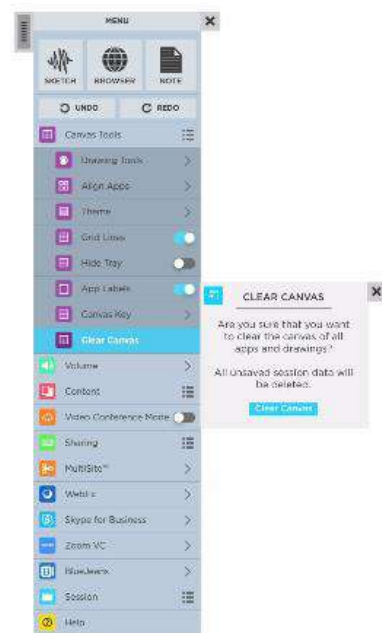
キャンバス・キー

大規模なマルチパネルウォールや ADA の導入時に便利なキャンバス・キーは、メニューから簡単にアクセスできます。キャンバス・キーをタップすることで、キャンバスの別のエリアに簡単に移動することができます。



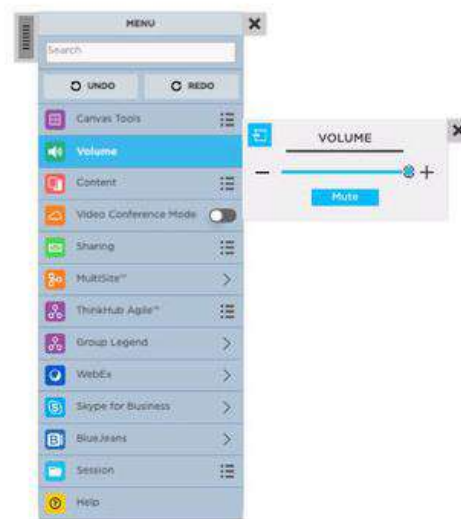
キャンバスの消去

このエリアでは、すべてのアプリと描画されたキャンバス全体を消去して最初からやり直すことができます。保存されていないものは削除されます。



4.ボリューム

ThinkHub キャンバスで再生するメディアとコンテンツの音量を調整する際にはこのタブを選択します。



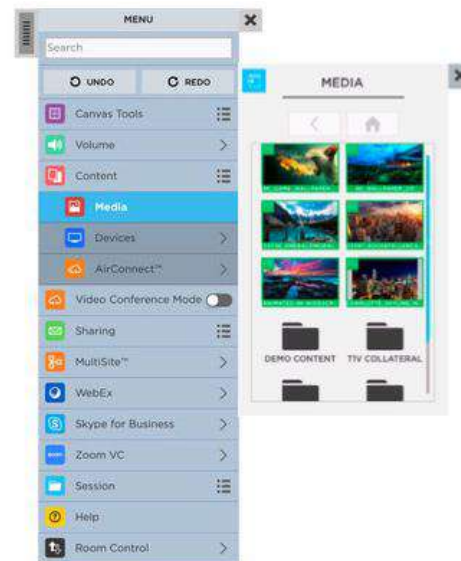
5.コンテンツ

このタブを選択すると、すべてのキャンバス・コンテンツにアクセスできます。ここでは、「メディア」「T1V アプリ」「デバイス」など複数のサブメニューが表示されます。

メディア

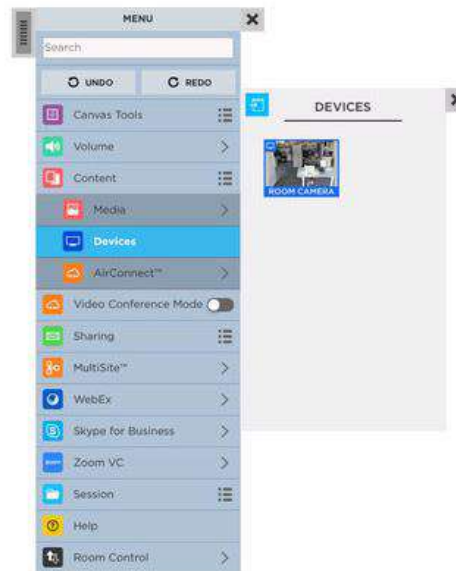
メディアファイルにアクセスするには、このタブを選択します。これは、キャンバストレイのメディア・セクションにも表示されています。

このメニューでは、切り離し可能なサブメニューを使用して、キャンバス上の任意の場所にメディアを再配置できます。大きなスペースで作業している場合や、複数のユーザーが同時にメディアにアクセスする場合は、各自のメディアサブメニューから操作することができます。



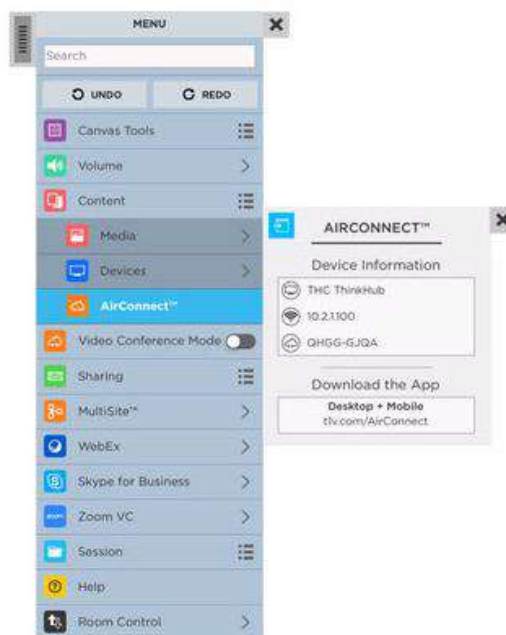
デバイス

T1V アプリで接続されたデバイス（ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど）にアクセスするには、このタブを選択します。特定のデバイスを表示するには、そのデバイスをタップするか、キャンバスに直接ドラッグします。



T1V アプリ

このタブを選択すると、T1V アプリの情報と、最新の T1V アプリ（ThinkHub ユーザーであれば無料）のダウンロード先が表示されます。この詳細情報はキャンバスの右上に表示されますが、T1V アプリのサブメニューを切り離して、室内にいるユーザーが最も見やすい場所に配置することができます（特に、大規模なマルチパネルウォールを使用している場合に便利な機能です）。



6. シェアリング

このタブを選択すると、キャンバスの共有オプションが表示されます。

この例では、キャンバスをメールで送信する、またはプリントするかを選択できます。

電子メール

このサブメニューでは、メールの受信者、件名、およびメッセージ入力を促すメッセージが表示されます。キャンバス全体を電子メールで送信するか、表示されているキャンバスだけ（タッチスクリーンに表示されているもの）を電子メールで送信するかを選択することもできます。すべての項目を入力したら、「送信」をタップしてください。受信者は、キャンバスセッションの PDF コピーを受け取ります。



プリント

このサブメニューでは、プリンターの選択（ドロップダウン選択）、拡大縮小の設定、プリントの向き（縦か横か）を選択できます。また、キャンバス全体を印刷するのか、表示されているキャンバス（タッチスクリーンディスプレイに表示されているもの）だけを印刷するのかを選択できます。すべての項目を入力したら、「プリント」をタップしてください。

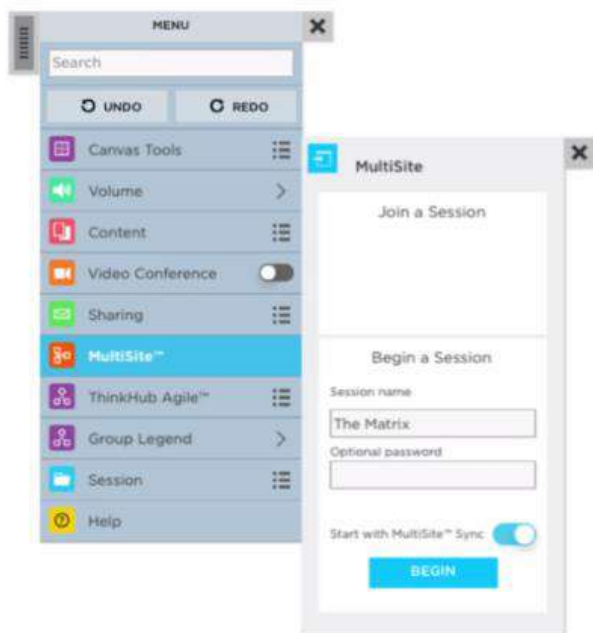


7. マルチサイト

このタブを選択すると、ThinkHub マルチサイトにアクセスできます。（注意: ThinkHub マルチサイトは標準機能ではないため、ThinkHub 追加として購入する必要があります）

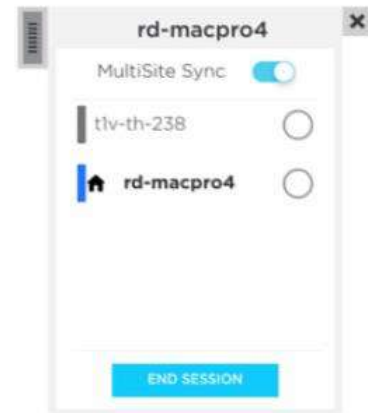
ThinkHub マルチサイトおよび ThinkHub マルチサイト SMB では、既存のセッションに参加（「セッションに参加」セクションに表示される任意のセッションを選択）したり、新しいマルチサイト・セッションを開始したりできます。

新しいセッションを開始するには、セッション名と任意のパスワードを入力します。セッションをパスワードで保護している場合、またリモートのマルチサイト参加者がセッションに参加するには、そのパスワードを共有する必要があります。Begin（開始）をタップして、マルチサイト・セッションを開始します。



マルチサイト同期

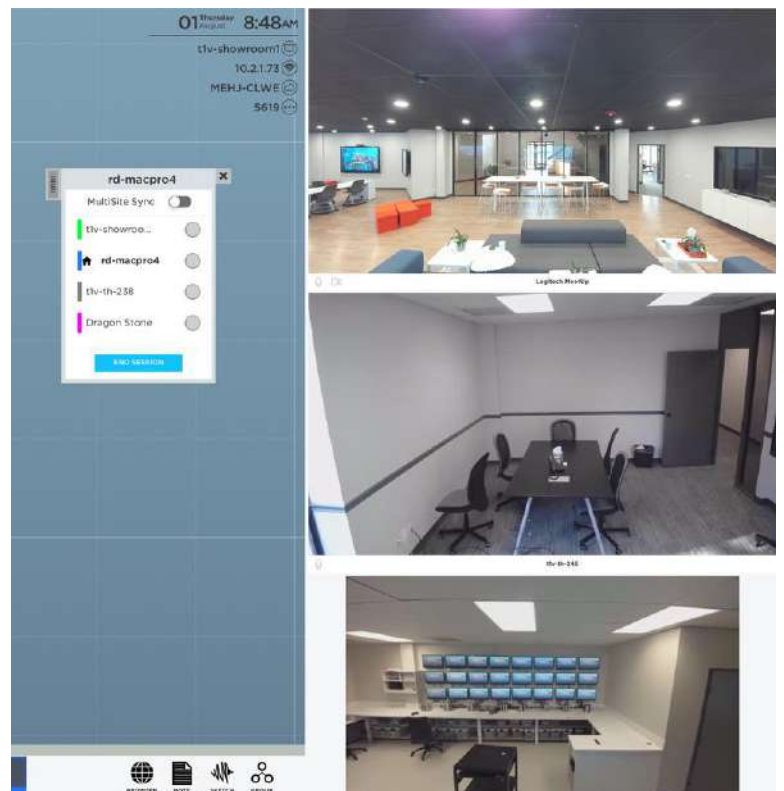
ThinkHub マルチサイト同期は、マルチサイトを利用する顧客のために開発されたもう一つの機能で、現在のビューと同期する他の拠点ユーザーを招待し、マルチサイト・セッションをリードすることができます。これにより、一度に最大 10 のマルチサイト・ロケーションが、キャンバス上の全く同じエリアを同時に表示し、操作することができます。マルチサイトのセッション中、拠点ごとに担当者を変更可能で、各拠点では、誰を同期し、誰をしないかをコントロールすることができます。



マルチサイト・ビデオ会議

ThinkHub マルチサイトにはビデオ会議機能が搭載されており、マルチサイトでの会議をよりシームレスに行うことができます。マルチサイト VC は、キャンパスの共有に加えて、ThinkHub マルチサイトの参加者が、アクセスされた最大 10 カ所の場所で、同時に音声やビデオを楽しむことができます。

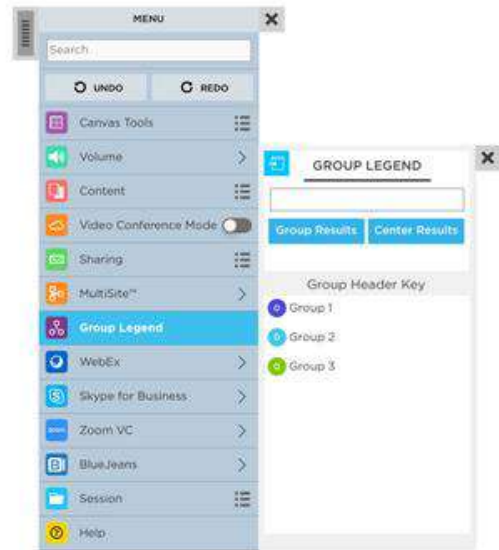
その時点でマルチサイトを利用しているユーザーは、USB カメラ/マイクを ThinkHub に接続するだけでマルチサイト VC を利用できます。ThinkHub マルチサイト・セッションでは、参加者はメニューに移動して「ビデオ会議モード」を切り替えることができます。接続されたマルチサイト VC の参加者は、キャンパスの右側の列に表示されます。



8. グループの凡例

グループの凡例にアクセスするには、このタブを選択します。グループの凡例を使用すると、キャンバス上にあるグループの数、各グループに含まれるアプリの数、グループヘッダーの色などを簡単に確認することができます。

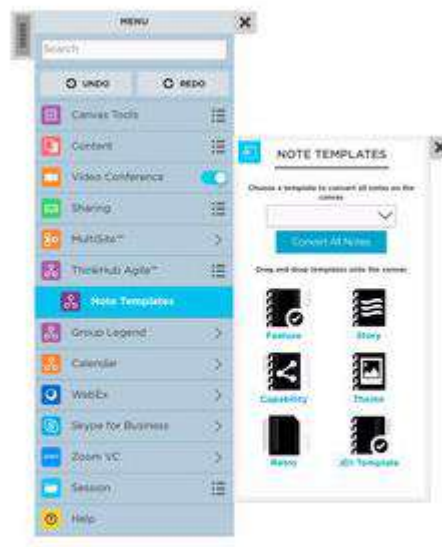
また、グループ内のノートに含まれる特定のテキストを検索し、その結果を中央に配置したり、検索したテキストを含むノートで新しいグループを作成したりすることもできます。



9. ThinkHub アジャイル・テンプレート

ThinkHub アジャイルのユーザー向けに「ThinkHub アジャイル・テンプレート」の提供を開始しました。アジャイルのユーザーは、T1V 標準のアジャイル・テンプレート（機能、構想、能力、回顧、テーマなど）を使用することもできますし、T1V と協力してチーム独自のワークフローに合わせてアジャイル・テンプレートを作成するかを選択できます。

すべてのアジャイル・テンプレートは CA Rally や JIRA のようなアジャイルシステムの記録ソフトウェアと直接統合することができます。ThinkHub アジャイルユーザーは、記録ソフトウェアのシステムと ThinkHub の間で CSV データファイルをアップロード/ダウンロードすることができ、この情報を 2 箇所を手動で取得し更新する必要がなくなります。

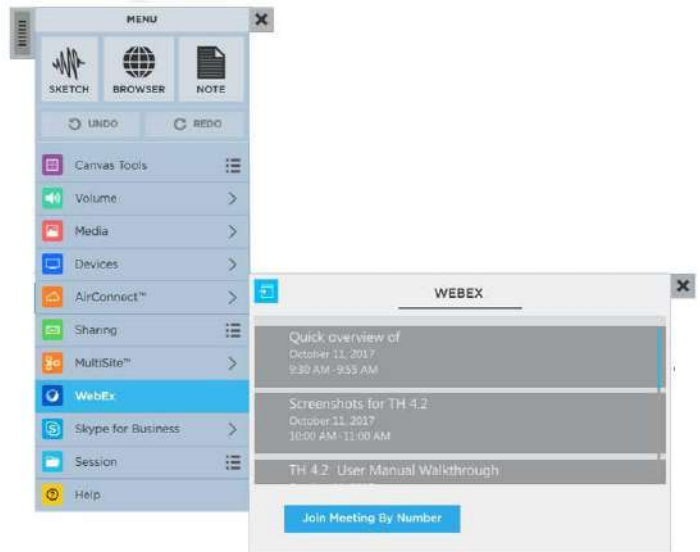


10.ビデオ会議

ThinkHub のビデオ会議用の追加は、既存のシステムで動作するように設計されています。ThinkHub VC は、Cisco や Polycom などのハードウェア・ビデオ会議機器と互換性があり、初回のみセットアップと設定費用が必要です。

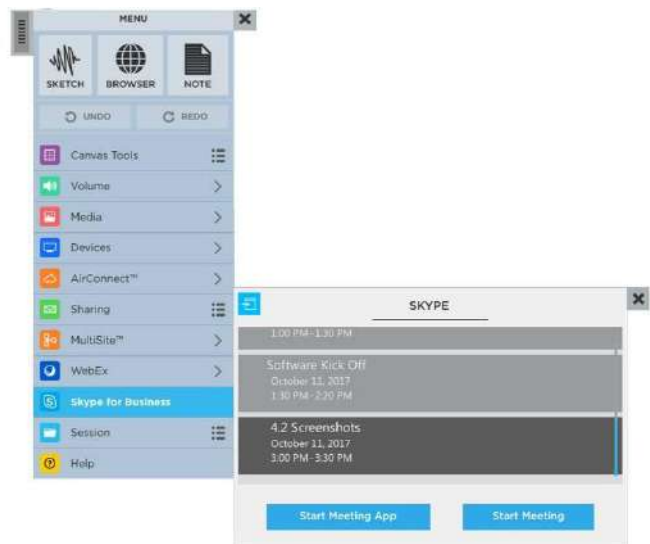
WebEx

このタブを選択して、既存の WebEx コールに参加するか、新規のコールを作成します。リモート参加者は、ThinkHub のキャンバスを確認でき、ユーザーもリモート参加者の画面やカメラの映像を見ることができます。メニューから WebEx を選択すると、キャンバスと右側の VC パネルに WebEx ウィンドウが表示されます。



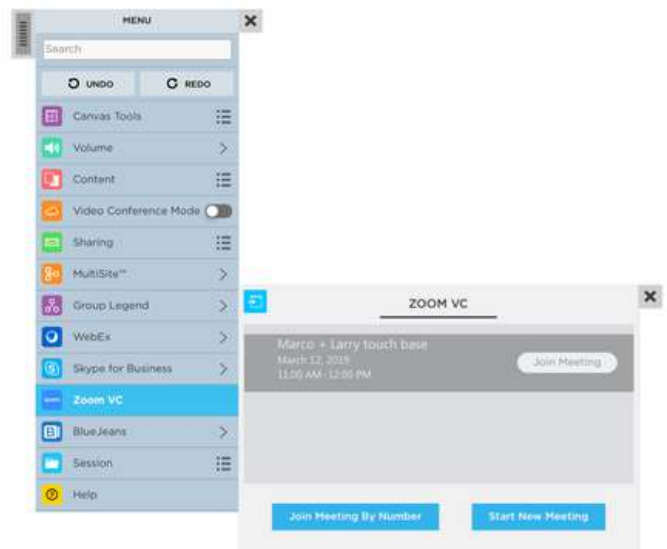
Skype for Business

このタブを選択すると、既存の「Skype for Business」通話に参加、新規に通話を開始することができます。リモート参加者は ThinkHub のキャンバスを確認でき、ユーザーもリモート参加者の画面やカメラの映像を見ることができます。メニューから「Skype for Business」を選択すると、キャンバスと右側の VC パネルに SFB ウィンドウが表示されます。



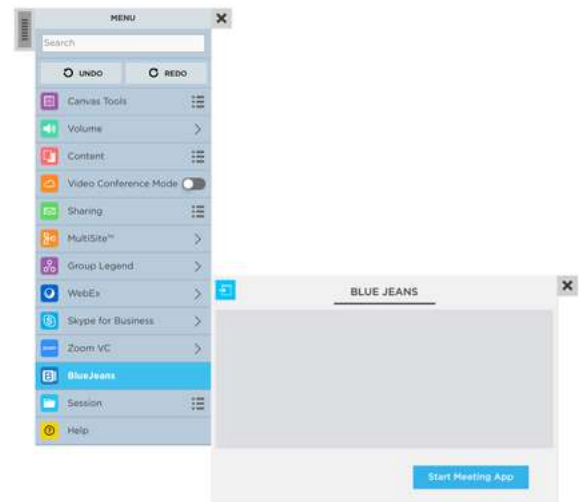
Zoom

既存の「Zoom」コールに参加、または全く新しい「Zoom」コールを作成する場合は、このタブを選択します。リモート参加者は ThinkHub のキャンバスを確認でき、ユーザーはリモート参加者の画面やカメラの映像を見ることができます。メニューから「Zoom」を選択すると、キャンバス上と右側の VC パネルに「Zoom」ウィンドウが表示されます。



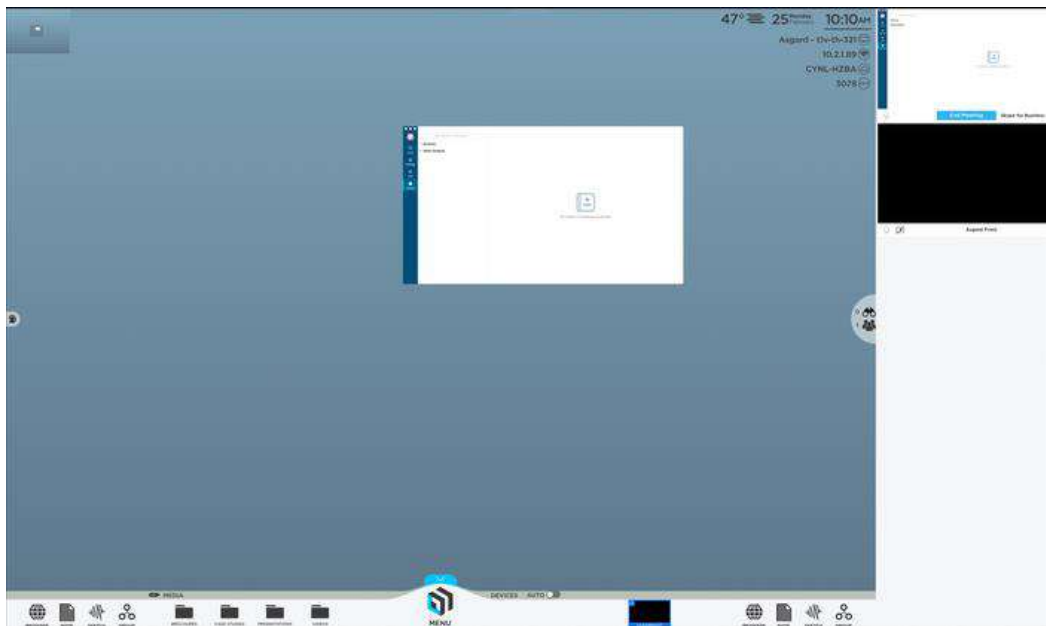
Blue Jeans

このタブを選択すると、既存の「Blue Jeans」コールに参加したり、新規にコールを作成することができます。リモート参加者は ThinkHub のキャンバスを確認でき、ユーザーはリモート参加者の画面やカメラの映像を見ることができます。メニューから「Blue Jeans」を選択すると、キャンバス上と右の VC パネルに「Blue Jeans」ウィンドウが表示されます。



VC パネル

ThinkHub VC パネルを使用して、サードパーティ製 VC アプリケーションを実行しながら、アクティブなワークスペースを最大限に活用することができます。この機能はメニューからアクセスでき、オン/オフを切り替えることができます。サードパーティ製ビデオ会議アプリケーション（Skype、Zoom、Webex、Blue Jeans など）を起動すると、そのアプリケーションがキャンパスの右側にパネルで表示されるようになりました。そして、VC アプリケーションのウィンドウをキャンパスにドラッグ&ドロップ、またはタップすることができます。VC アプリケーションウィンドウは VC パネル内で固定表示されるため、キャンパス上で VC アプリケーションウィンドウの 1 つを閉じても、VC パネル内の VC ウィンドウにアクセスすることができます。



11. セッション

このタブでは、ThinkHub のセッションを開いたり、保存したり、終了したりすることができます。

オープンセッション

ここでは、保存されている使用可能なすべてのセッションのリストが表示されます。また、アルファベット順に表示され、キャンバスのサムネイルプレビューを参照することができます。開きたいセッションをタップします。セッションがパスワードで保護されている場合は、パスワードの入力が必要です。最後に「開く」をタップして、選択したセッションを開きます。



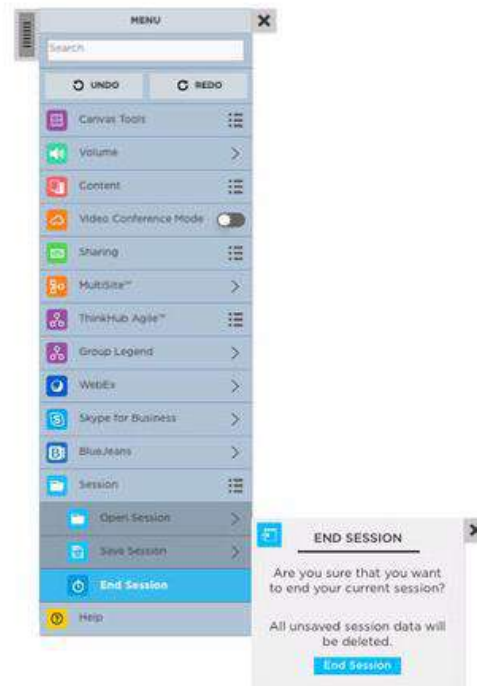
セッションの保存

ここでセッションを保存することができます。保存されたすべてのセッションが表示されるので、セッションの名前が重複しないように注意してください。セッションをパスワードで保護したい場合は、パスワードを入力することもできます。セッションを保存する準備ができたなら、「保存」をタップします。



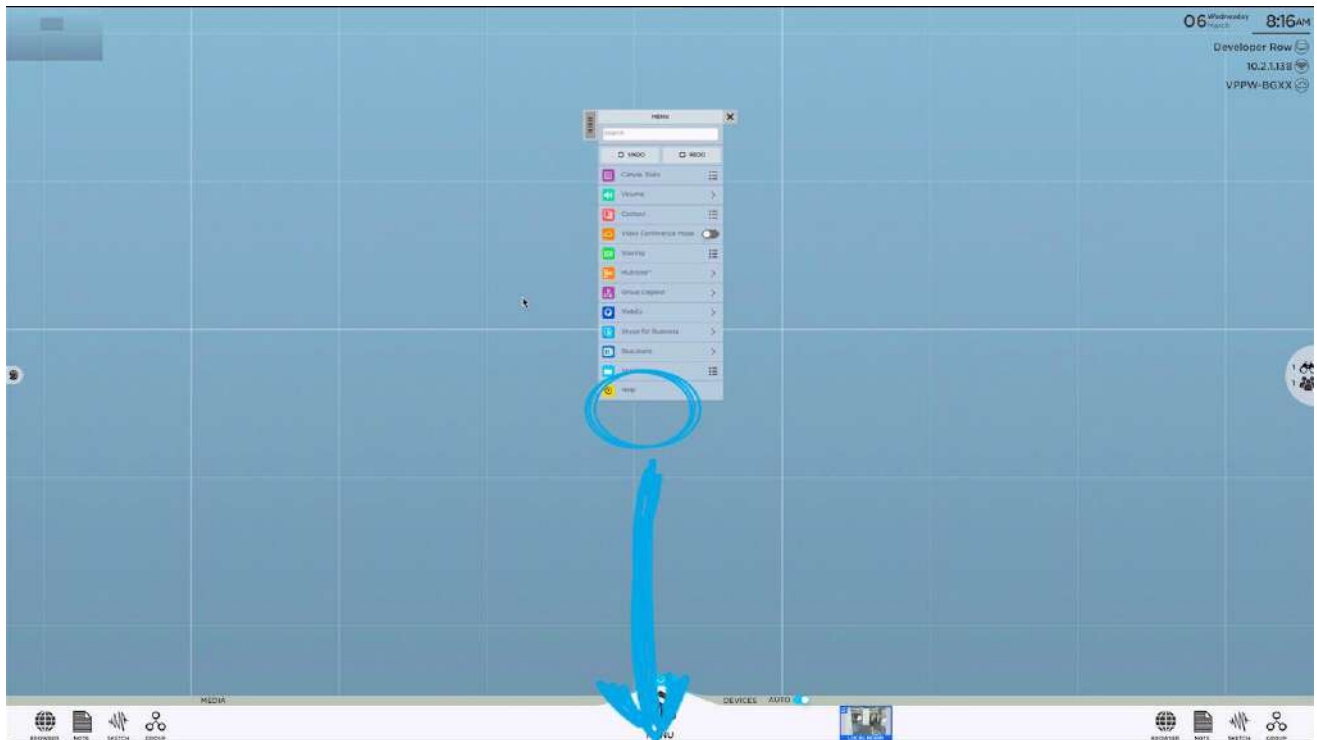
セッションを終了する

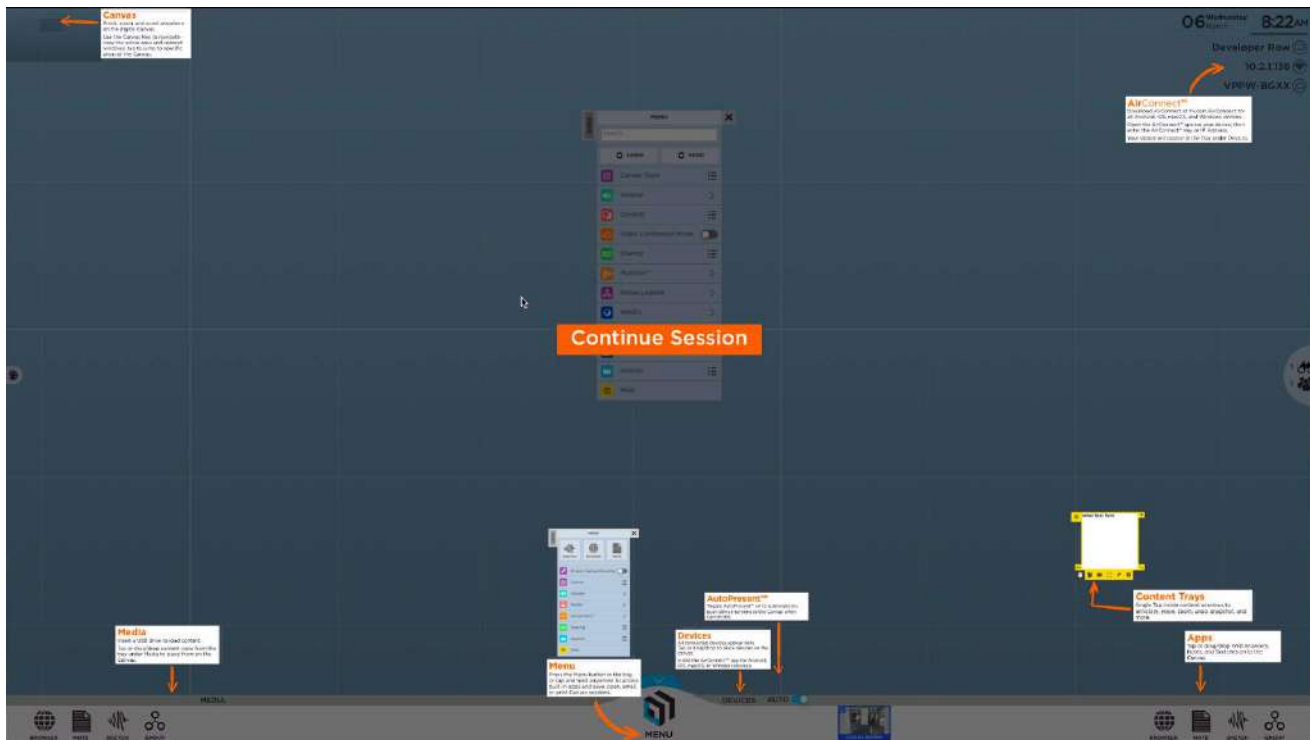
ここでは、セッションの終了を選択することができます。保存されていないセッションデータはすべて消去されますので、ご注意ください。「セッションの終了」をタップすると、データを保存せずにセッションが終了します。



12.ヘルプ

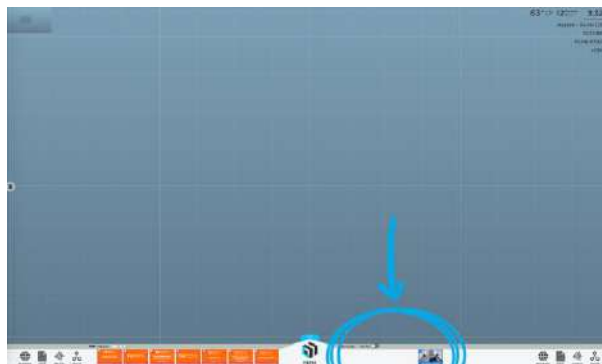
ThinkHub のツールについて簡単に確認したいときは、メニューの一番下にある「ThinkHub ヘルプ」にアクセスしてください。「セッションを続ける」をタップすると、セッションに戻ります。





デバイス

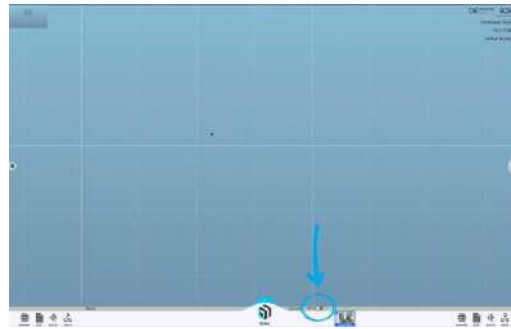
接続されているすべてのデバイスがキャンバストレイのデバイスセクションに表示されます。キャンバスに共有するサムネイルをタップまたはドラッグするまで、各デバイスはプレビューサムネイルとして表示されます。プレビューサムネイルの下部には、デバイスの名前が参照用のオーバーレイテキストとして表示されます。



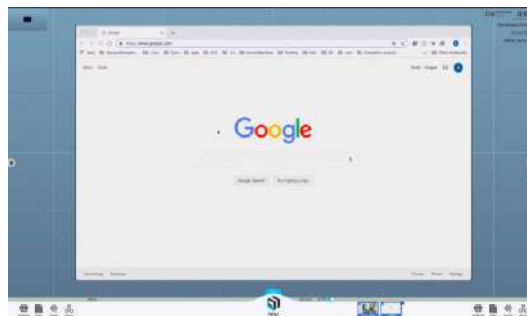
自動プレゼンテーションモード

自動プレゼンテーションモードを開始することもできます。接続時にデバイス画面を自動的にキャンバスに表示するには、「オン/オフ」を切り替えて設定できます。これは、プレゼンテーションを行うときや、接続されたデバイスをキャンバスにドラッグするのを他の人

に依頼したくない場合に役立ちます。自動プレゼンテーションをオンにすると、キャンバスに接続しているすべてのユーザーが自動的にキャンバスに送られ、すばやくプレゼンテーションを実行できます。



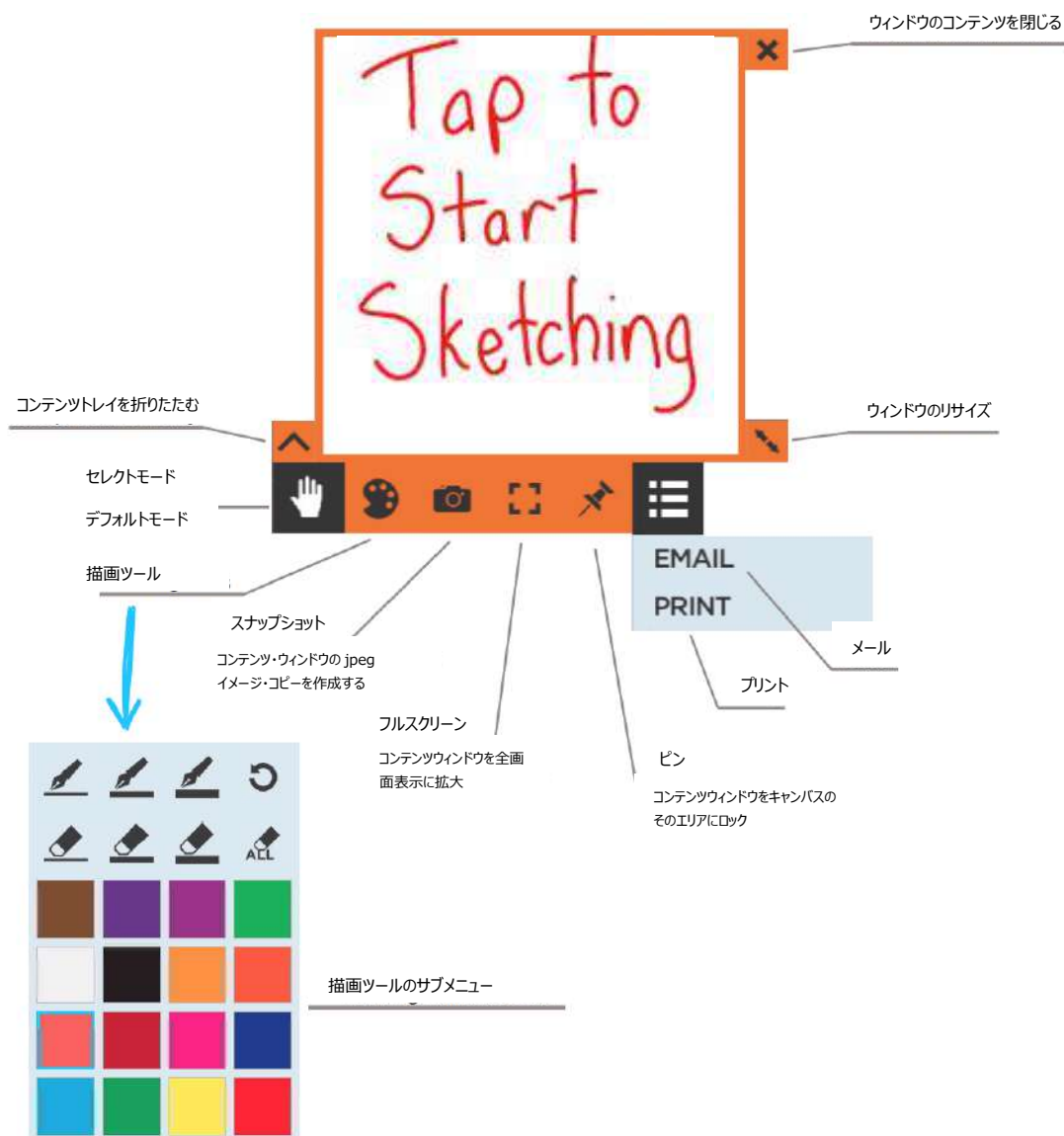
さらにこのモードでは、デバイスのウィンドウが前面中央に表示されます。



コンテンツトレイ

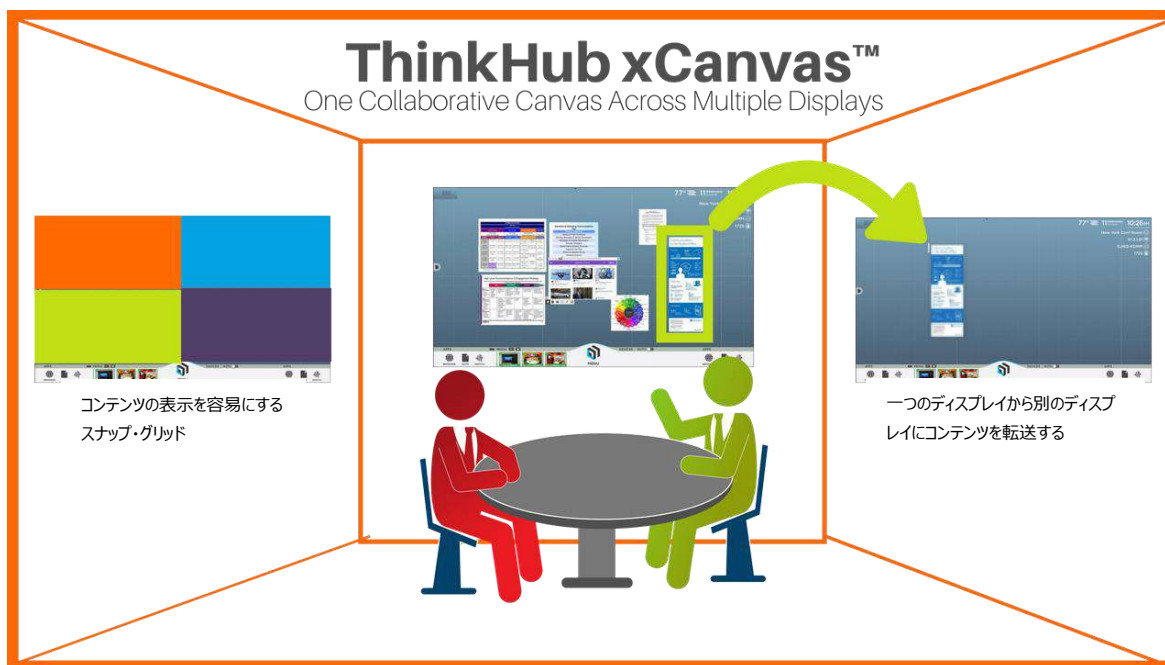
ThinkHub キャンバスで利用できる各コンテンツには、独自のユーザーツールセットが用意されています。コンテンツトレイとも呼ばれます。コンテンツトレイはすべての種類のコンテンツで共通なので、ノート、スケッチ、PDF、ビデオ、画像のどれを開いても、トレイには一貫して同じユーザーツールが配置されます。

コンテンツトレイをアクティブにするには、コンテンツウィンドウの内をタップします。コンテンツトレイが表示され、常にコンテンツウィンドウの左下に固定されているのがわかります。コンテンツトレイが開いている間は、コンテンツウィンドウのフリックやドラッグ&ドロップはできません。コンテンツトレイを閉じるには、ウィンドウの左下にある折りたたみボタンをタップします。



ThinkHub xCanvas（キャンバス）

ThinkHub xCanvas は、ThinkHub を 1 台のディスプレイで使うだけでなく、室内に複数のディスプレイを設置することができます。より臨場感のある体験をするためには、会議室の 4 つの壁をすべて使って xCanvas を設置できます。xCanvas を使用すると、大量のデータやコンテンツをチームで視覚化し、操作することができます。タッチジェスチャーまたは T1V アプリのアクセスコントロール（室内およびリモート参加者がモバイルデバイスで利用可能）を使って、1 つのディスプレイから別のディスプレイにコンテンツを送信できます。



注意:これは標準 ThinkHub の追加機能です。価格の詳細については、お問い合わせください。

主な特徴は以下の通りです。

室内のアイテムを簡単に表示：タッチジェスチャーでコンテンツを別のディスプレイに表示したり、T1V アプリでコンテンツの配置をコントロールしたりできます。

スナップグリッド：スナップグリッドでは、2x2 のグリッド形式で、1 つのディスプレイに 4 つのエリアを配置できます。コンテンツを指定のドロップゾーンにドロップすると、そのコンテンツは最大のサイズと解像度で配置されます。ユーザーが別のアイテムをその同じゾーンに置くと、新しいコンテンツがその上に表示されます。スナップグリッドはデフォルト設定となっています。設定時にスナップグリッドを使用するかどうかを指定する必要があります。

全画面表示モード：任意のコンテンツをタップすると、現在のディスプレイ上で全画面モードにて表示されます。（全画面表示は xCanvas 全体には拡大しません。）

キャンバストレイの分割：ディスプレイごとにキャンバストレイを分割して、どの画面からでも ThinkHub のすべての機能にアクセスできます。

T1V アクセスを使用して、コンテンツのコントロールや移動も可能：室内でも、リモートで操作していても、リモートコントロールとして機能します。AC アクセスを使用して、ノート、URL、ファイルを xCanvas に送信することもできます。目的のエリアにドラッグ&ドロップするだけで、xCanvas の特定の領域にファイルを送信できます。

xCanvas は、最大 12 台の 1080 p ディスプレイまたは最大 3 台の 4K ディスプレイに対応：すべてのディスプレイは、サイズと解像度が均一でなければなりません。ディスプレイには、タッチ式と非タッチディスプレイ式があります。非タッチディスプレイは、T1V アクセスのみでコントロールする必要があります。

ThinkHub A/V マトリックス

バーチャル AV マトリックスでは、外部のオーディオビデオ・マトリックス・スイッチャーをコントロールすることができます。ThinkHub メニューでは、入力と出力をドラッグ & ドロップするだけで、室内のハードウェア接続を行うことができるようになりました。この機能は追加機能です。詳細は T1V 担当者にお問い合わせください。

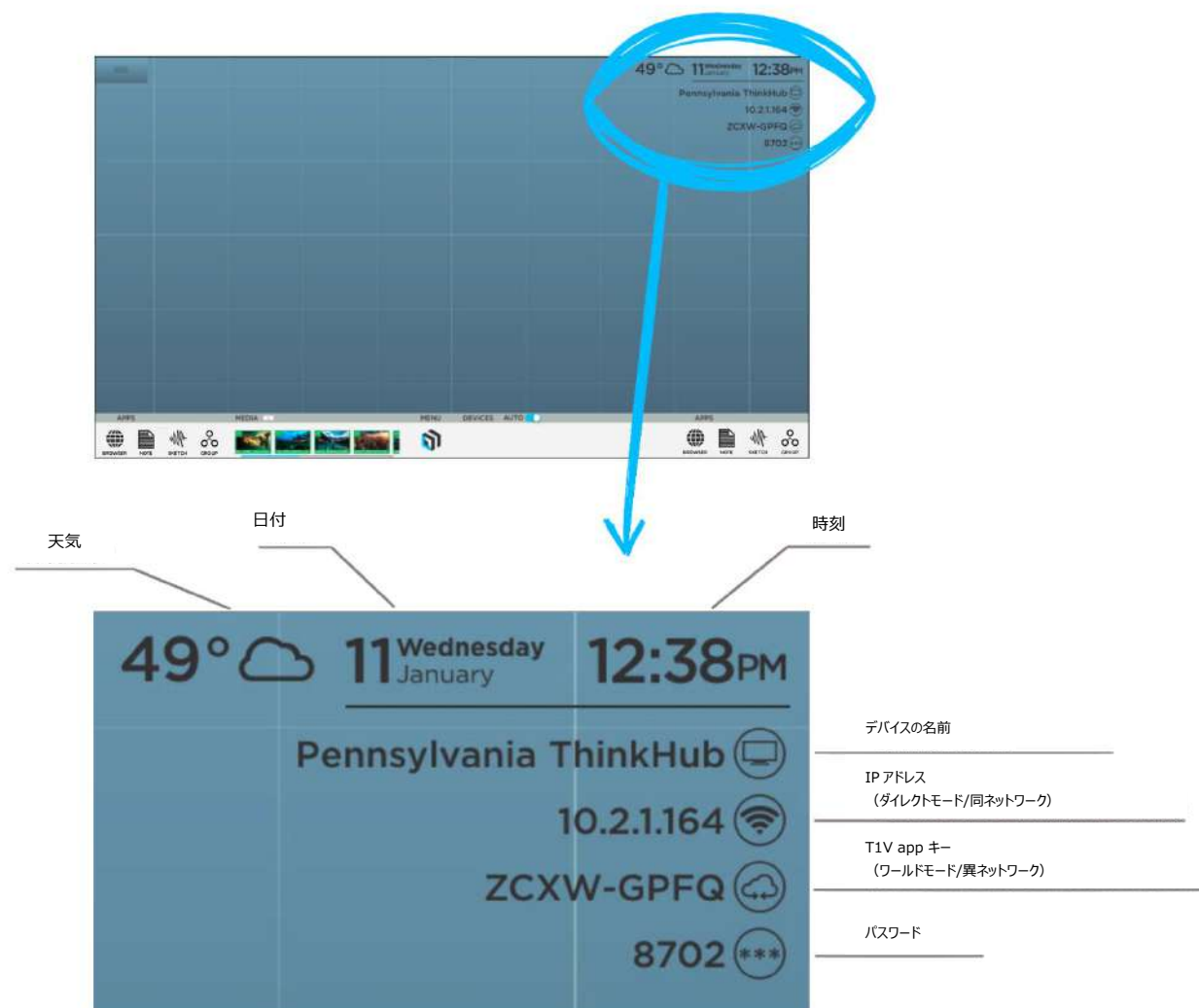


T1V app (アプリケーション)

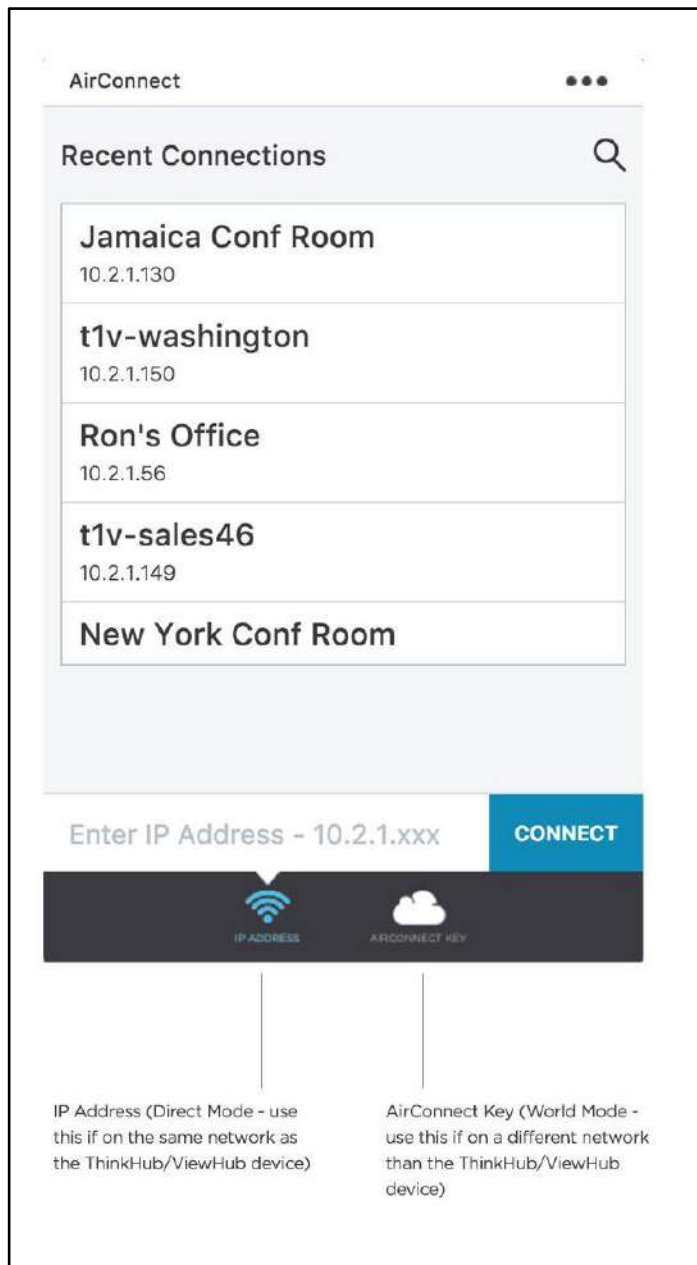
T1V app を使えば、どんなノートパソコンやモバイルデバイスでも、ThinkHub（タッチ式の BYOD コラボレーション）や ViewHub（非タッチ式の BYOD プレゼンテーション）のディスプレイにワイヤレスで接続することができます。T1Vapp は、macOS、iOS、Linux、Android、Windows に対応しています。

T1V アプリをお使いの端末にインストールするには、<https://www.t1v.com/app> にアクセスしてください。

デバイスの接続



T1V アプリを端末にインストールすると、ルームコードまたは IP アドレスを入力する必要があります。この情報については、キャンパスの右上隅を参照してください。



ThinkHub デバイスと同じネットワーク上にある場合（「ダイレクトモード」とも呼ばれます）、IP アドレスを入力します。別のネットワークを使用している場合（「ワールドモード」とも呼ばれます。ゲストやリモートで作業している人、ゲストネットワークで ThinkHub デバイスに接続したい人がいる場合など）は、ルームコードを入力します。

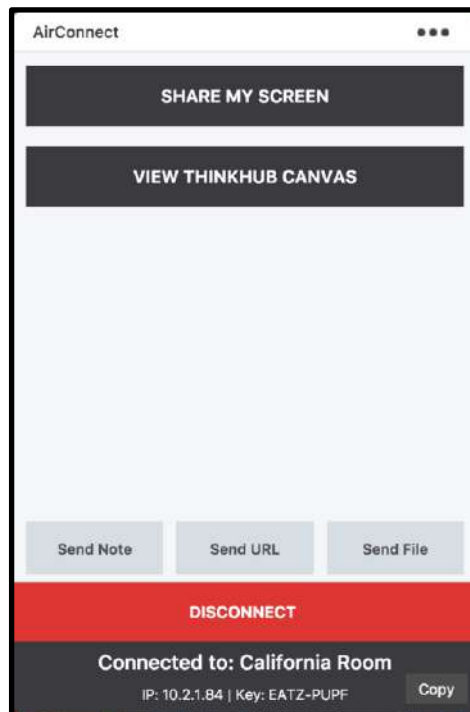
T1V app をワールドモードで使用すると、モバイルネットワーク上であっても、リモートユーザーはどこからでも ThinkHub セッションに参加することができます。

ThinkHub デバイスに接続すると、そのデバイスは自動的に“Recent Connections”（最近の接続）のリストに表示されます。これにより、以降のセッション（ThinkHub の IP アドレスを使用して「最近の接続」を保存する必要があります）にすばやく接続できます。ダイレクトモードでは、デバイスに接続するために必要なのはパスワードだけです。接続したいルームを選択すると、参加するためのパスワードの入力を求められます。

ワールドモードで参加される場合は、ルームコードの入力が必要となります。その後、参加するためのパスワードの入力を求められます。

さらにセキュリティを高めるために、パスワードはキャンパスの右上に表示され、T1V アプリでデバイスをディスプレイに接続する際に必要となります。管理者は、固定パスワードの設定、または 30 分ごとに自動的にパスワードをリセットするよう設定することができます。インストール時にパスワードを必要としない場合もあります。

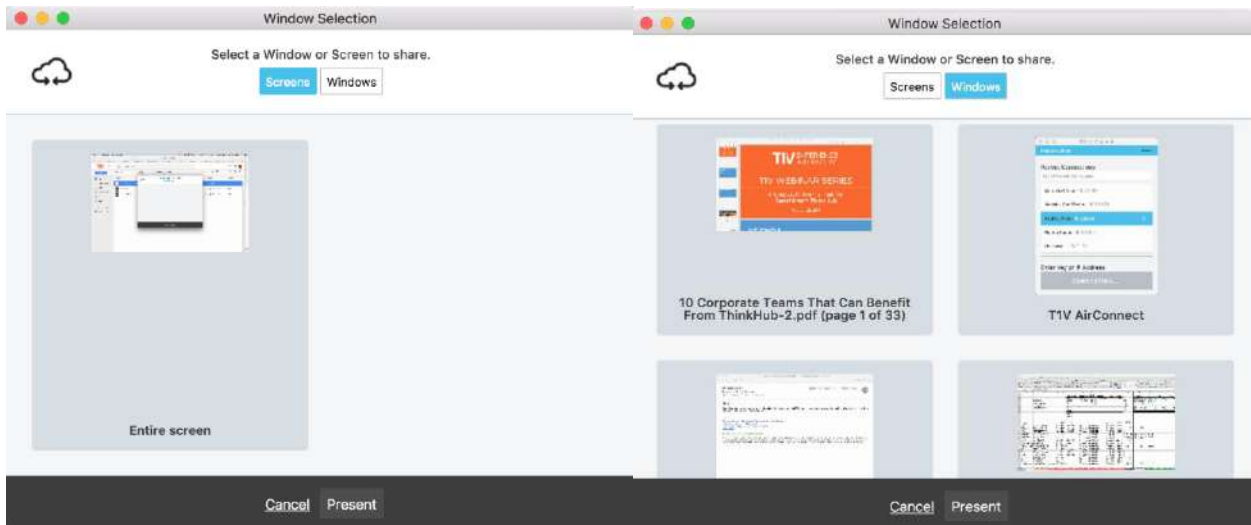
接続すると、以下の画面が表示されます。



ウィンドウやスクリーンの選択

「画面を共有する」をタップすると、デバイスが ThinkHub ディスプレイと共有されます。画面共有ウィンドウが表示され、ウィンドウまたはデバイス画面全体の共有を選択できます。

1 つのウィンドウまたはデバイスの画面全体を共有できます。デバイスから共有するコンテンツを選択したら、「表示する」をタップします。画面上のコンテンツを共有したくない場合は、「キャンセル」をタップします。



「表示する」をタップすると、デバイス画面の上部に赤いバーが表示されます。これは、T1V アプリケーション経由で、指定したデバイス画面が ThinkHub キャンパス上に正常にブロードキャストされていることを示しています。



ThinkHub 用 T1V アプリメニュー

1.画面共有の停止

このボタンをタップすると、ThinkHub のディスプレイへの画面共有を停止することができます。

2.TouchControl™の切り替え

TouchControl は、ThinkHub キャンバスからデバイスをコントロールすることができます。それで、プレゼンテーション中に ThinkHub キャンバスからスライドを進めたい場合は、TouchControl を 1 回タップするだけでできます。また、Word や PowerPoint などのプログラムで簡単な編集を行うこともできます。TouchControl は ThinkHub のみの機能で、現在は Mac と Windows のノートパソコン上で実行できます。
注：TouchControl は、デバイスの画面全体を共有する場合にのみ動作します。

3.ThinkHub で画面を前面表示する

このボタンをタップすると、デバイスの画面が ThinkHub 上で前面に表示されます。このツールは、セッションがキャンバスのほかの部分に移動したときに、デバイスの画面にすぐに戻りたい場合に便利な機能です。この機能を使用して、グループ内で接続されている別のデバイス同士をすばやく行き来することもできます。

4.共有する新しい画面またはウィンドウを選択

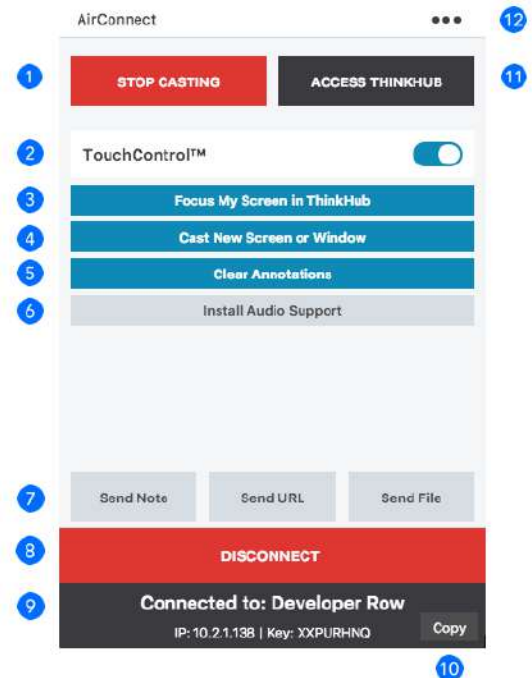
アクセスの切断は必要ありません。ここをタップするだけで、デバイス画面から共有するコンテンツの切り替え、さらに T1V アクセスを介してキャンバスを表示できます。

5.注釈の削除

このボタンをタップすると、T1V アプリケーション画面に追加された注釈がすべてクリアされます。

6.オーディオサポートのインストール

個々のデバイスからオーディオを再生するのではなく、ThinkHub ディスプレイから再生するようにオーディオを設定します。この機能は、Mac のノートパソコンにのみ適用されます。



7.T1V アプリファイル

T1V アプリファイルを使用すると、個々のデバイスと ThinkHub キャンバス間でメモ、URL、ファイルを共有できます。

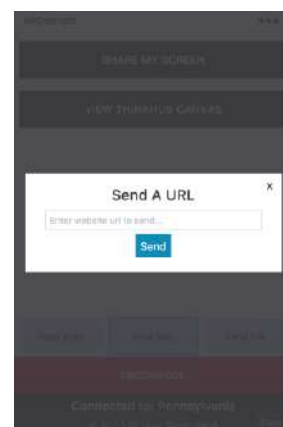
ノートを送る

独自のキーボードを使用してテキストフィールドにノートを入力し、デバイスの利便性を利用してノートを作成します。ノートを ThinkHub キャンバスに送信するには、「ノートを送信」をタップします。新しいノートを作成するには「+」をタップします。キャンバスに共有されたノートは、室内の参加者が編集することができます。背景色を変えてアイデアを分類したり、実際のコピーを変更したり、ノート上に注釈を加えたりすることができます。キャンバス上に 1 つ以上のグループがある場合は、「ノート送信」画面の右上に「グループを選択...」のドロップダウンが表示されます。このドロップダウンでグループを選択すると、キャンバスに送信されたノートが自動的にそのグループに追加されます。



URL の送信

ThinkHub キャンバスに送信する URL を入力します。ThinkHub は、その URL で Web ブラウザーのウィンドウを起動します。



ファイルの送信

メディアファイル（画像、動画、PDF）を ThinkHub キャンバスに送信することができます。「ファイルを送信する」ボタンを押すと、ファインダーウィンドウが開きます。ファイルを選択し、ファインダーウィンドウで「開く」をタップします。また、ファイルを T1V アプリのウィンドウや ThinkHub キャンバスにいつでも簡単にドラッグ＆ドロップすることができます。

8. 接続解除

このボタンを選択すると、ThinkHub セッションへの接続を終了します。

9. 接続先

この画面には、接続している ThinkHub 機器の名前と、それに付随する IP アドレス、ルームコードが表示されます。

10. コピー

T1V アプリケーションの認証情報をクリップボードにコピーするには、このオプションを選択します。この情報を、ThinkHub ルームにいないリモートのセッション参加者と簡単に共有できるようになりました。

11. T1V アクセス

ここを選択すると、T1V アクセス（個人のデバイスから ThinkHub キャンバスの表示、ポイント、コントロール機能）が利用できます。また、セッション中にキャンバスに作成したメモ、キャンバスの PDF、および現在のセッション全体をダウンロードすることができます。この機能セットは、リモート参加者を対象としています。

ノートのダウンロード

T1V アプリを通じて、ThinkHub キャンバスからノートをダウンロードする機能があります。「ノートのダウンロード」を選択すると、ファイルブラウザーのウィンドウが開きます。その後、ファイルに名前を付け、タグを追加し（オプション）、ファイルの保存先を選択できます。ノートのデータは、CSV ファイルで指定した場所に保存されます。

キャンバスのダウンロード

T1V アプリでは、キャンバスの PDF をダウンロードできます。「キャンバスの PDF をダウンロード」を選択すると、ファイルブラウザーウィンドウが開きます。その後、ファイルに名前を付け、タグを追加し（オプション）、ファイルの保存先を選択できます。キャンバスの PDF が任意の場所に保存されます。

現在のセッションをダウンロード

T1V アプリを使用すると、ThinkHub セッションをノートパソコンやモバイルデバイスに直接保存できるため、ThinkHub セッションを安全に携帯し、ネットワーク/クラウドサーバを使用せずに別の ThinkHub デバイスでセッションを再開することができます。ThinkHub セッションファイル (.t1vx) を T1V アプリファイル経由でキャンバスにドロップするだけで、保存したセッションを新しい ThinkHub デバイスで共有することができます。

T1V アクセスズーム

T1V アクセスで ThinkHub キャンバスをリモートで表示する場合、ピンチ/ズームしてセッションの表示をコントロールすることができます。選択肢としては、+/- ボタン、スライダー、またはご自身のデバイスのトラックパッドやデバイスのマウスを使用することができます。

この機能は、操作している T1V アクセスのモードによって動作が異なります。T1V アプリケーションビューでは、この操作によって T1V アクセスのリモートビューが変更されます。室内のキャンバスは影響を受けません。T1V アプリのコントロールでは、室内の参加者が見ることのできるキャンバスのエリアを物理的に拡大することができます。

コンテンツのダウンロード

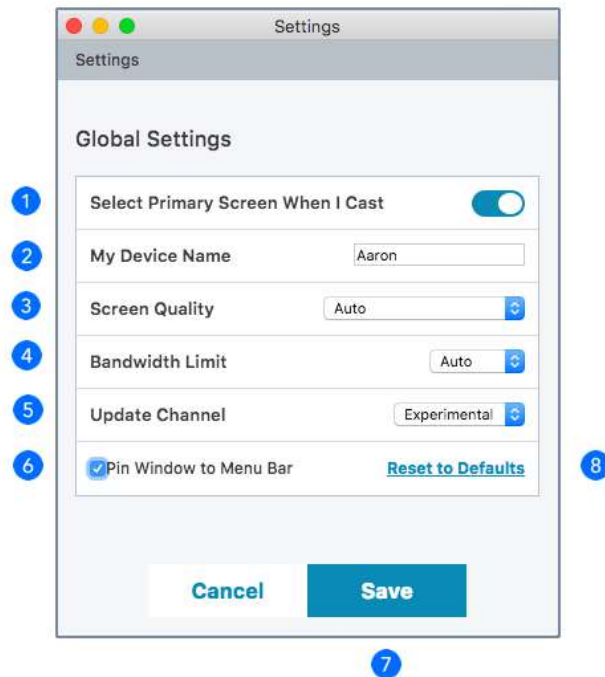
T1V アプリを使用すると、キャンバス上に個々のコンテンツをダウンロードできます。コンテンツ（ノート、スケッチ、PDF など）を右クリックすると、「注釈付きで PDF として保存」オプションが表示されます。その後、ファイルに名前を付け、タグを追加し（オプション）、ファイルの保存先を選択できます。その後、PDF ファイルが任意の場所に保存されます。



12. 設定

ここをタップすると、T1V アプリの追加オプションと設定のドロップダウンメニューが表示されます。（詳細については次のセクションを参照してください。）

T1V アプリの設定



1.キャスト時にプライマリ画面を選択

オン/オフを切り替えて、接続時にデバイス画面を ThinkHub/ViewHub と自動的に共有します。

2.マイデバイスの名称

ThinkHub/ViewHub キャンバスにデバイスを接続すると、この名前が表示されます。希望する表示名を入力してください。

3.画面品質

画面品質は「自動」にデフォルト設定されていますので、基本的にコンテンツの画面キャストに最適な設定が選択されます。静止画またはビデオをマニュアルで選択して、コンテンツのブロードキャストをより詳細に調整できます。

4.帯域幅制限

ストリーミングで使用する帯域幅を調整できます。

5.チャンネルの更新

ここでは、実行する T1V アプリのバージョンを選択できます。正式版は、T1V アプリの公式リリース版で、すべての機能がテストされデバッグされています。試用版はベータリリースです。つまり、最新の機能にアクセスできますが、テストおよびデバッグ中の可能性があります。

6.ウィンドウをメニューバーにピン留めする

T1V アプリメニューがトップメニューバーに固定され、簡単に検索してすぐにアクセスできるようにします。

7.保存

設定を変更したら、ここをタップして保存してください。すべての変更を保存しない場合は、「キャンセル」をタップします。

8.初期設定への復元

ここをタップすると、変更した設定を元に戻し、T1V の初期設定に戻すことができます。

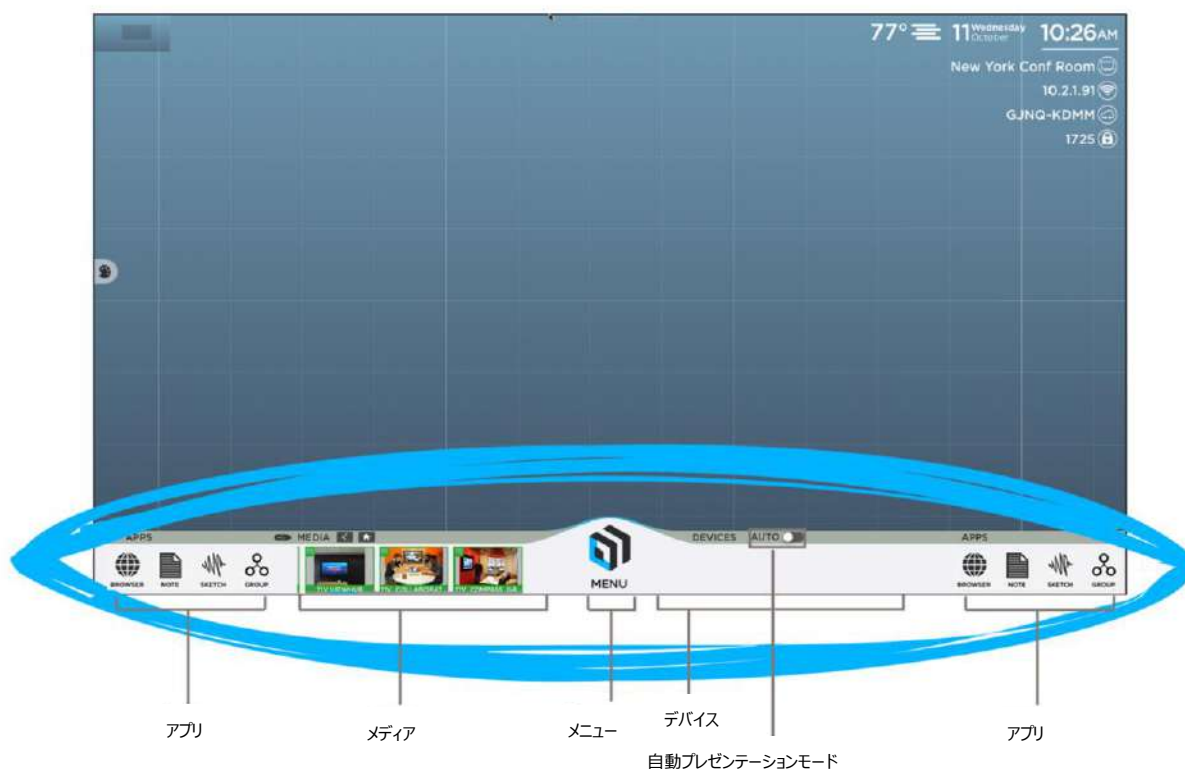
マルチデバイスの接続

ThinkHub はデバイス共有を無制限にサポートしています。お使いの ThinkHub のバージョンによっては、一度に ThinkHub キャンバスにドラッグ&ドロップできるライブ・デバイス・ストリームの数に制限があります。詳細は、T1V 担当者にお問い合わせください。

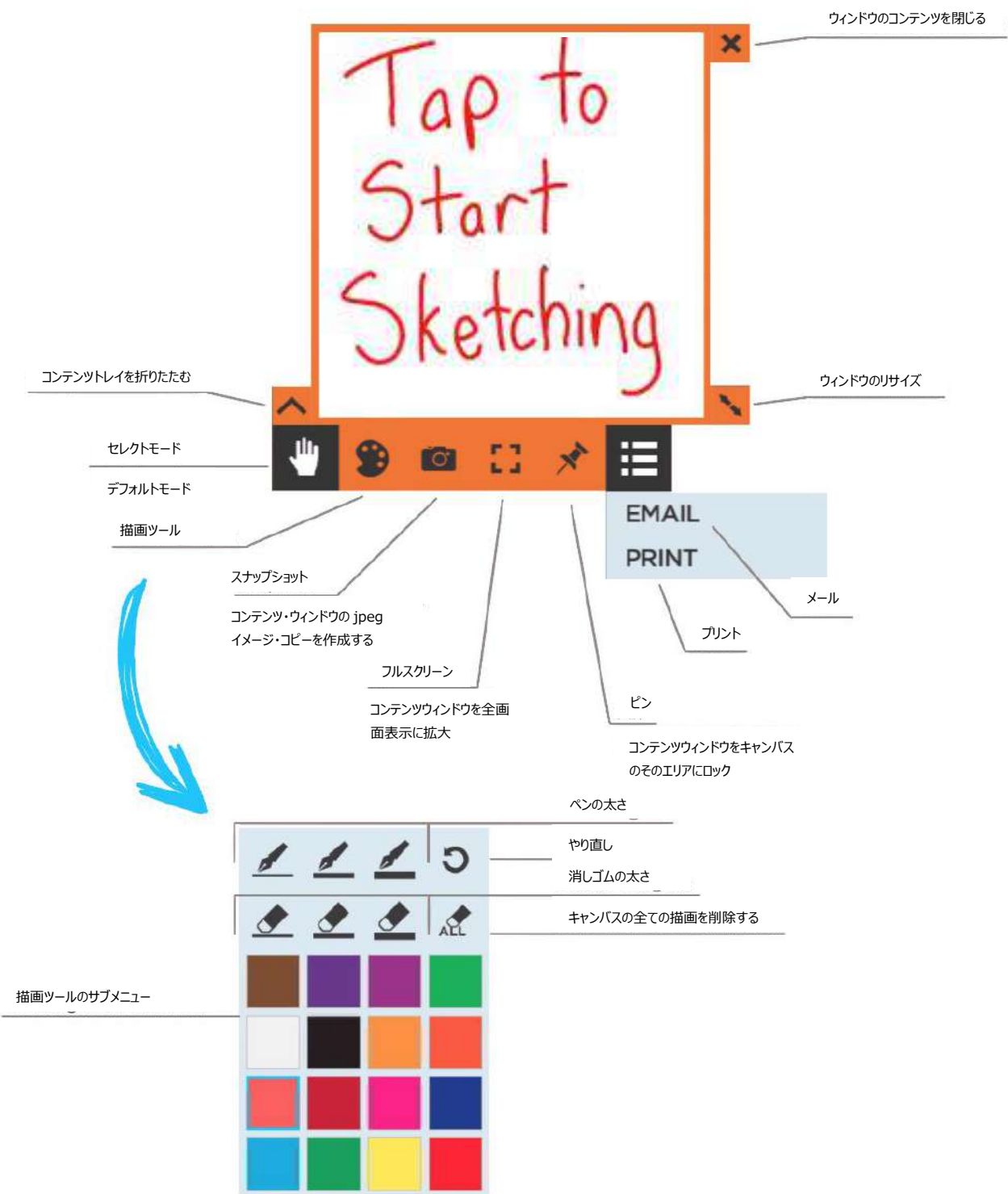
ボタン・アイコン用語集

ThinkHub は、ボタンを利用して一連のユーザーツールとアクションを表示し、それぞれをビジュアルアイコンで表現しています。ThinkHub アイコンは、ThinkHub キャンバス、メニュー、コンテンツレイのさまざまな場所で使用されています。こうしたツールとアクションを理解するために役立つ、クイック参照用語集をご紹介します。

キャンバストレイ



コンテンツトレイ



メニュー





正規販売代理店：株式会社メディアプラス
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-6
清水書院サービス第 2 ビル 7 F
TEL: 03-3237-9003
FAX: 03-3237-9005
WEB: <https://www.mediaplus.co.jp>